

平成18年(2006年)2月17日
経営戦略局財政改革チーム
担当 関昇一郎・鈴木英昭
026-235-7039(直通)
026-232-0111(内線2052)
026-235-7475(FAX)
E-mail: zaisei@pref.nagano.jp

平成18年度当初予算(案) 編成過程

長 野 県

平成18年(2006年)2月

平成18年度当初予算(案) 編成過程

部局名: 経営戦略局

事業名	予算額 [平成17年度予算額]	事業内容	要求額(12/21)	要求に対する査定経過
<p>広報事業費</p> <p>秘書広報チーム FAX 026-235-6232 E-mail koho@pref.nagano.jp</p>	<p>2億3221万6千円</p> <p>[2億2419万3千円]</p>	<p>県民の皆様には様々な媒体を使って広報することにより、県の施策について十分理解していただき、県民の皆様の県政に対するご意見を今後の施策に反映させることを目的として実施します。</p> <p>1 新聞 「広報ながのけん」を県内発行の日刊紙に掲載します。</p> <p>2 テレビ・ラジオ 広報番組やお知らせを毎週放送します。</p> <p>3 ケーブルテレビ 新たに広報番組を作成し、ケーブルテレビで放送します。</p> <p>4 ホームページ ホームページ「WEBSITE信州」、携帯サイト「モバイルながのけん」を充実します。</p>	2億9558万8千円	<p>「広報ながのけん」やテレビ広報番組を見直すなど、事業の重点化を図り、経費を縮減しました。</p>
<p>「信州ルネッサンス革命」推進事業(コモンズ支援金) [信州モデル創造枠予算]</p> <p>コモンズ・地域政策チーム FAX 026-235-7026 E-mail commons-seisaku@pref.nagano.jp</p>	<p>10億89万9千円</p> <p>[10億円]</p>	<p>人と人の絆を原点として、施策の流れを「地域発」に変え、自律的な県民とともにコモンズに軸足を置いた「信州ルネッサンス革命」を推進するため、地域コモンズで企画された独自の改革や活動を応援することを目的とした「コモンズ支援金」を交付します。</p> <p>1 コモンズ支援金 10億円 ・事業主体 市町村、広域連合 ・事業区分 地域づくり団体等 ・補助率 地域枠: 概ね7割 全県枠: 概ね3割 ソフト: 10/10以内 ハード: 2/3以内</p> <p>2 地域枠選定委員会 89万9千円</p>	10億111万8千円	<p>支援金については、要求どおり。コモンズ支援金(地域枠)選定委員会の開催経費については、県の審議会委員の単価を参考に委員に対する報償費を節減しました。</p>

事業名	予算額 [平成17年度予算額]	事業内容	要求額(12/21)	要求に対する査定経過
<p>コモンズ創出支援事業費 【信州モデル創造枠予算】</p> <p>コモンズ・地域政策チーム FAX 026-235-7026 E-mail commons-seisaku@pref.nagano.jp</p>	<p>600万円</p> <p>[600万円]</p>	<p>様々な地域課題を解決するため、地域に暮らす意欲ある住民等と地域に身近な現地機関との協働による地域主体の活動を展開します。</p>	600万円	要求どおり
<p>治水・利水対策推進事業費 【信州モデル創造枠予算】</p> <p>治水・利水対策推進チーム FAX 026-235-7026 E-mail chisui-risui@pref.nagano.jp</p>	<p>189万7千円</p> <p>[227万5千円]</p>	<p>新しい治水・利水対策の策定と推進に向けて、流域に暮らす方々と行政がともに考えていくことを目的とする流域協議会を開催します。 また、流域協議会の共通した課題となっている基本高水流量の検討・研究のための高水協議会を開催します。 流域協議会開催回数 33回 高水協議会開催回数 12回</p>	218万8千円	基本高水の議論のために招聘するアドバイザーの経費について、流域協議会と高水協議会の双方で計上していたため、一元化を行いました。
<p>行政パートナー雇用事業費</p> <p>人財活用チーム FAX 026-235-7395 E-mail jinji@pref.nagano.jp</p>	<p>5億5318万3千円</p> <p>[6403万8千円]</p>	<p>県職員が職場において直接、地域に根差して暮らす意欲溢れる県民の目線に触れ協働することで、職員の意識向上を図るとともに、真のパートナーシップを確立することを目指します。 また、就労意欲を持ちながら、なかなか定職に就くことが困難な方々に対して、一定期間就業機会の確保を図るとともに、幅広い年齢層から人財を確保し、その知識や経験を県政に積極的に取り入れ、県民サービスの維持向上を図ります。</p>	<p>(当初要求) 0円</p> <p>(追加要求) 5億5318万3千円</p>	<p>(要求時の考え方) 平成17年度までは行政パートナー緊急雇用事業として実施しており、平成18年度からは各部局において必要に応じて行政嘱託員を雇用することとしていました。</p> <p>県民との協働による職員の意識向上やパートナーシップの構築を目指すとともに、就業機会の確保や県民サービスの維持向上を図るため事業を追加しました。</p>

事業名	予算額 [平成17年度予算額]	事業内容	要求額(12/21)	要求に対する査定経過
<p>人財開発事業費</p> <p>人財活用チーム 行政システム改革チーム FAX 026-235-7030 E-mail gyokaku@pref.nagano.jp</p>	<p>1654万円</p> <p>[1847万8千円]</p>	<p>信州・長野県の総合愛産産業の担い手として、質の高い行政サービスを提供していくため、県民の皆さまの目線に立って発想をする感性を磨き、速やかな課題解決ができるよう、意識改革・行動改革を進め、また、業務の専門性の獲得を目指した研修を実施します。</p> <p>主な研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市町村・民間企業等派遣研修 ・目標設定・実行研修 ・リーダーシップ研修 ・チャレンジ支援研修 ・行動力向上研修 	<p>2283万1千円</p>	<p>自治研修所の施設が老朽化し、修繕等の経費が必要となるため、他の施設を利用して研修を行うこととしました。</p> <p>また、チャレンジ支援研修等について事業内容を見直しました。</p>

事業名	予算額 [平成17年度予算額]	事業内容	要求額(12/21)	要求に対する査定経過
消防団充実強化支援事業費 【信州モデル創造枠予算】 危機管理・消防防災課 FAX 026-233-4332 E-mail bousai@pref.nagano.jp	524万円 [558万円]	より一層安心・安全な信州・長野県を構築するため、コモンズからはじまる消防団の充実・強化を図ります。 ・県消防ポンプ操法大会・ラッパ吹奏大会の開催 男性消防ポンプ操法・ラッパ吹奏 女性消防ポンプ操法 ・地区消防ポンプ操法大会・ラッパ吹奏大会への支援 ・県職員の地域消防団活動への参加(ゼロ予算事業) ・市町村の消防団員募集への支援(ゼロ予算事業)	524万円	要求どおり
長野県総合防災訓練 危機管理・消防防災課 FAX 026-233-4332 E-mail bousai@pref.nagano.jp	195万5千円 [226万9千円]	各種防災訓練を総合的に実施し、災害即応体制の確立及び防災意識の普及啓発を図るため、木曾町を主会場に県下一斉の総合防災訓練を実施します。	226万9千円	開催地の条件等からテント、テーブル、イス等のレンタル個数を見直しました。
生活必需品備蓄整備事業費 危機管理・消防防災課 FAX 026-233-4332 E-mail bousai@pref.nagano.jp	- (災害救助基金の活用)	災害が発生した直後、被災した県民が安心して過ごせるよう必要最小限度の毛布、タオル、おむつ、トイレなどの生活必需品等を備蓄整備します。 備蓄物資 毛布、タオル、おむつ、生理用品、組立式トイレ、ブルーシート 備蓄場所 松本平広域公園防災備蓄倉庫 必要経費 1000万円程度(災害救助基金を活用)	- (災害救助基金の活用)	要求どおり

事業名	予算額 [平成17年度予算額]	事業内容	要求額(12/21)	要求に対する査定経過
<p>⑧ 気象情報システム更新事業費 【信州モデル創造枠予算】</p> <p>危機管理・消防防災課 FAX 026-233-4332 E-mail bousai@pref.nagano.jp</p>	<p>333万円</p> <p>[0円]</p>	<p>気象情報システムを更新することで、多角的な気象情報をリアルタイムで集約し、迅速・的確な防災対策を進めます。</p>	<p>1億567万7千円</p>	<p>災害等非常時の被害情報や気象情報、防災に関する情報等をリアルタイムに集約し、県、市町村、防災関係機関等が迅速かつ的確な防災対策を講じるための情報共有が行えるよう、老朽化した気象情報システム更新に合わせ、システム全体の拡充を要求しましたが、気象情報システムの更新についてリースで対応することとしました。</p>
<p>⑧ 消防学校専門課程高度近代型救助技術研修事業費</p> <p>危機管理・消防防災課 FAX 026-233-4332 E-mail bousai@pref.nagano.jp</p>	<p>131万円</p> <p>[0円]</p>	<p>複雑多様化する災害に対応するため、新たな救助技術を消防職員が習得・訓練し、災害時に県民の安全を守ります。</p> <p>消防学校での救助研修 ・ザイル等を用いた救助資材の使用・点検方法 ・都市部・山岳・山間地等状況に応じた救助方法 ・レスキューネットを用いた救助方法</p>	<p>161万6千円</p>	<p>研修に必要な資機材について、数量を見直しました。</p>
<p>長野県国民保護普及啓発事業費</p> <p>危機管理・消防防災課 FAX 026-233-4332 E-mail bousai@pref.nagano.jp</p>	<p>160万8千円</p> <p>[0円]</p>	<p>いざというときに活動の主体となる自治体関係者、災害ボランティア、自主防災組織等を対象に、国民保護法制について理解を深めるため、「国民保護フォーラム」を開催します。</p> <p>また、県国民保護協議会を開催するとともに、県国民保護計画を市町村等関係機関に配付します。</p>	<p>227万6千円</p>	<p>国民保護フォーラムは外部講師を招いて実施するよう要求しましたが、県職員で対応することとしました。</p>

事業名	予算額 [平成17年度予算額]	事業内容	要求額(12/21)	要求に対する査定経過
ヘリ用防災行政無線設備更新 事業費 危機管理・消防防災課 FAX 026-233-4332 E-mail bousai@pref.nagano.jp	1億3174万4千円 債務負担行為額 (2億4491万2千円) [3970万1千円]	非常時の迅速な情報収集と伝達のための通信手段である県防災行政無線について、国の周波数割当て変更に伴い、県が保有するヘリコプター等の通信体制の機能維持を図るために地上系無線設備の一部を更新します。	(当初要求) 0円	(要求時の考え方) 防災行政無線地上系の国の周波数割当て変更及び施設の老朽化のため、地上系無線の更新内容の検討を進めていました。
			(追加要求) 1億5539万7千円 債務負担行為額 (2億4337万5千円)	県が保有するヘリコプター等(消防防災ヘリ、ドクターヘリ、県警ヘリ等)に関する地上系無線の更新と、移動系無線の代替対応としての衛星携帯電話を配備するための経費を追加要求しました。 衛星携帯電話については、周波数が変更となる平成19年度に導入することとしました。
⑨ 地震体験車更新事業費 危機管理・消防防災課 FAX 026-233-4332 E-mail bousai@pref.nagano.jp	- [0円]	-	3717万2千円	(要求の考え方) 最新の機能を搭載した地震体験車の購入を要求しました。 (査定結果) 引き続き現有車を使用することとしました。
⑨ 災害時用衛星携帯電話設置事業費 【信州モデル創造枠予算】 危機管理・消防防災課 FAX 026-233-4332 E-mail bousai@pref.nagano.jp	- [0円]	-	549万8千円	(要求の考え方) 衛星携帯電話を各地方事務所に配備するよう要求しました。 (査定結果) 衛星携帯電話については、地上系防災行政無線の周波数が変更となる平成19年度に導入することとしました。

事業名	予算額 [平成17年度予算額]	事業内容	要求額(12/21)	要求に対する査定経過
<p>⑨ 防災服整備事業費</p> <p>【信州モデル創造枠予算】</p> <p>危機管理・消防防災課 FAX 026-233-4332 E-mail bousai@pref.nagano.jp</p>	<p>-</p> <p>[0円]</p>	<p>-</p>	<p>903万円</p>	<p>(要求の考え方) 新基準に基づく防災服の購入を要求しました。</p> <p>(査定結果) 現有の防災服を引き続き活用することとしました。</p>

事業名	予算額 [平成17年度予算額]	事業内容	要求額(12/21)	要求に対する査定経過
<p>みんなですすめる人権尊重 プログラム支援事業費</p> <p>【信州モデル創造枠予算】</p> <p>ユマニテ・人間尊重課 FAX 026-235-7389 E-mail humanite@pref.nagano.jp</p>	<p>437万8千円</p> <p>[734万6千円]</p>	<p>県民から様々な人権問題に関する事業プログラムを募集し、参加者が積極的に参加・体験でき、人権尊重意識を高める効果の高い優秀なプログラムに対して、その実践に要する経費を支援します。</p> <p>・補助対象 県民 ・補助率 2/3以内</p>	<p>437万8千円</p>	<p>要求どおり</p>
<p>男女共同参画センター管理 運営費</p> <p>ユマニテ・人間尊重課 FAX 026-235-7389 E-mail humanite@pref.nagano.jp</p>	<p>5761万9千円</p> <p>[1億4665万4千円]</p>	<p>施設管理・貸館業務を指定管理者へ委託し効率化を図るとともに、事業の県直営化に伴い一部事業を見直し統合を図り、女性のチャレンジ支援、若年層への啓発、地域における多様な取組の支援、関係部局と連携した相談事業の実施など重要な課題に取り組みます。</p>	<p>7437万8千円</p>	<p>指定管理者が決定したため、指定管理料を変更しました。 また、修繕費について緊急性の高いか所のみ計上するとともに、センターで実施する研修・講演会等の個別事業について経費を精査しました。</p>
<p>⑨ 高速情報通信ネットワーク整備 事業費</p> <p>【信州モデル創造枠予算】</p> <p>情報政策課 FAX 026-235-0517 E-mail joho@pref.nagano.jp</p>	<p>80万9千円</p> <p>債務負担行為 (24億3190万円)</p> <p>[0円]</p>	<p>ITの利活用により県民サービスの向上を図るとともに、事務処理の迅速化・効率化を進めるための高速情報通信ネットワークを整備します。</p> <p>・平成19年6月運用開始予定</p>	<p>80万9千円</p> <p>債務負担行為 (24億3190万円)</p>	<p>要求どおり</p>

事業名	予算額 [平成17年度予算額]	事業内容	要求額(12/21)	要求に対する査定経過
木曽地域デジタル・ディバイド 解消総合支援事業補助金 【信州モデル創造枠予算】 情報政策課 FAX 026-235-0517 E-mail joho@pref.nagano.jp	3750万円 [1億8750万円]	テレビの難視聴を始めとして、多くのデジタル・ディバイドを抱えている木曽地域において計画されているケーブルテレビ施設整備事業に支援を行い、木曽地域のデジタル・ディバイドの抜本的解決を図ります。 ・補助対象 木曽広域連合 ・補助率 県1/12(他に国から1/3が直接交付)	1億8750万円	国の三位一体改革に伴う補助金の交付金化により、国から交付金が直接木曽広域連合に交付されることとなったことから、県補助額のみを計上しました。
(新) 県境地域テレビ難視聴解消実証実験事業補助金 【信州モデル創造枠予算】 情報政策課 FAX 026-235-0517 E-mail joho@pref.nagano.jp	2104万円 [0円]	県境地域を中心とした多くの山間地集落では、日常生活だけでなく、非常時の情報伝達手段としても欠くことができないテレビが、難視聴となっています。有線放送回線を活用して、IPマルチキャスト方式によるテレビ難視聴解消の実証実験を行います。 ・実験実施地域 栄村秋山郷等 160戸 ・補助対象 栄村 ・補助率 県10/10	(当初要求) 0円	-
			(追加要求) 2104万円	本年1月の豪雪により孤立した秋山郷においては、住民の貴重な情報源である県内民放各局のテレビ放送が全く受信できない状況におかれており、住民の不安解消の一助とするため、緊急に実証実験を実施することとし、事業を追加しました。
コモンズ交通システム支援 事業補助金 【信州モデル創造枠予算】 交通政策課 FAX 026-235-7396 E-mail kotsu@pref.nagano.jp	5015万円 [2000万円]	地域の実情に応じた新たな地域交通システムを再構築するための取組を実施する市町村に対し、その取組に要する経費について助成します。 補助対象事業及び補助率 ・調査、検討に要する経費 1/3以内(補助限度額100万円) ・システム導入に要する経費 1/3以内(補助限度額500万円)	6600万円	各市町村における事業計画の検討状況を踏まえ、当初予算へ計上する事業費について精査しました。

事業名	予算額 [平成17年度予算額]	事業内容	要求額(12/21)	要求に対する査定経過
鉄道近代化設備整備事業 補助金 【一部信州モデル創造枠予算】 交通政策課 FAX 026-235-7396 E-mail kotsu@pref.nagano.jp	2499万4千円 [4192万6千円]	県内鉄道の利便性及び保守度の向上等のため、大規模設備投資に対して助成します。 ・補助対象 松本電鉄(株) 長野電鉄(株) 上田電鉄(株) しなの鉄道(株) ・補助率 2/10以内	1億2734万1千円	緊急性の高い事業を優先し、事業費を精査しました。また、しなの鉄道(株)の車両更新については同社の事業計画が来年度以降に変更になりました。
信州まつもと空港活性化事業費 【一部信州モデル創造枠予算】 交通政策課 FAX 026-235-7396 E-mail kotsu@pref.nagano.jp	2794万1千円 [1771万3千円]	利用しやすく親しみやすい空港とするため、運用時間の延長に取り組むなど、信州まつもと空港の活性化を図ります。 ・信州まつもと空港利用促進事業 ・航空灯火整備事業 ・航空機騒音調査業務委託事業	4531万円	航空灯火整備事業については基礎調査費用のみ予算計上し、設計費等については進捗状況に応じて補正予算対応とすることとしました。
⑨ 家庭と仕事の両立支援のための地域連携推進事業費 【信州モデル創造枠予算】 ユマニテ・人間尊重課 FAX 026-235-7389 E-mail humanite@pref.nagano.jp	- [0円]	-	406万2千円	(要求の考え方) 家庭と仕事の両立に向け、企業等が行う子育て支援の取組に対する助成について要求しました。 (査定結果) 家庭と仕事の両立支援策については、今後少子化対策にあわせてさらに総合的な検討を進めることとしました。

事業名	予算額 [平成17年度予算額]	事業内容	要求額(12/21)	要求に対する査定経過
<p>⑨ 「いつでもどうぞ！ねっとで受付」サービス提供事業費</p> <p>【信州モデル創造枠予算】</p> <p>情報政策課 FAX 026-235-0517 E-mail johou@pref.nagano.jp</p>	<p>-</p> <p>[0円]</p>	-	2379万4千円	<p>(要求の考え方) 住民の利便性の向上と行政事務の効率化のため、市町村と共同で、電子申請・届出サービスを行う経費を要求しました。</p> <p>(査定結果) 参加団体や利用率の向上策、費用対効果について更に精査し、今後の予算化を検討していくこととしました。</p>
<p>公共交通機関による南北交流促進事業費</p> <p>【信州モデル創造枠予算】</p> <p>交通政策課 FAX 026-235-7396 E-mail kotsu@pref.nagano.jp</p>	<p>-</p> <p>[174万5千円]</p>	-	123万9千円	<p>(要求の考え方) 県の南北を結ぶ公共交通機関の利便性の向上を図るため、高速バスに接続する連絡バスの運行実験に関する経費を要求しました。</p> <p>(査定結果) 地元市でパークアンドライド方式を進めること等になったため、県で事業化しないこととしました。</p>

事業名	予算額 [平成17年度予算額]	事業内容	要求額(12/21)	要求に対する査定経過
市町村合併特例交付金 市町村課 FAX 026-232-2557 E-mail shichoson@pref.nagano.jp	6998万円 [1億867万円]	合併に伴い懸念される事項を解消し、合併市町村の新しいまちづくりを支援するため、交付金を交付します。 交付対象市町村 長野市、松本市、中野市、塩尻市、佐久市、佐久穂町、阿智村	7098万円	松本市の事業内容に変更があったため、交付額を減額しました。
⑨ 「曼陀羅の里」活性化プロジェクト事業費 (筑北・生坂地域の活力アップ事業) 【信州モデル創造枠予算】 【事業提案】 市町村課 FAX 026-232-2557 E-mail shichoson@pref.nagano.jp	255万円 [0円]	筑北・生坂地域(麻績村、生坂村、筑北村)の各村及び地域住民の皆様と県とが協働して、観光資源などについて再検討し、観光と農業を連携させた地域の魅力を全国に発信することにより、交流人口の増加を図り、地域全体の活性化を支援します。	330万円	ホームページを職員が作成するなどの工夫を行い、経費の節減を図りました。
知事選挙費 市町村課 FAX 026-232-2557 E-mail shichoson@pref.nagano.jp	10億3438万4千円 [0円]	平成18年8月31日の任期満了に伴う知事選挙において、選挙公報の発行、候補者への選挙公営費の交付、市町村への執行経費の交付及び投開票事務等を行います。	10億9626万4千円	より効率的な啓発に努めるなど、経費の見直しを行いました。

事業名	予算額 [平成17年度予算額]	事業内容	要求額(12/21)	要求に対する査定経過
未利用県有地有効活用事業費 管財課 FAX 026-235-7474 E-mail kanzaika@pref.nagano.jp	1億7907万9千円 [1億8125万7千円]	県が所有する土地や建物で、今後、利用する見込みのないものについて、売却を促進するなど、有効活用を図ります。 新規売却 事務所等跡地 旧蚕業センター(松本市) 以下11か所 職員宿舍跡地 旧浅間寮(佐久市) 以下20か所	1億9346万円	測量や建物解体工事等に要する経費の縮減を図りました。
多文化共生くらしのサポーター 設置事業費 【信州モデル創造枠予算】 国際課 FAX 026-232-1644 E-mail kokusai@pref.nagano.jp	1282万4千円 [1282万4千円]	日本語が十分理解できない外国籍県民や、長い海外生活により同様な悩みを抱えている県民(中国帰国者など)が、県の行政サービスを等しく受けることができるよう、母国語による相談窓口「多文化共生くらしのサポーター」を設置します。 運営主体: 多文化共生くらしのサポーター運営委員会 対応言語: ポルトガル語、中国語、タイ語、タガログ語	1282万4千円	要求どおり
⑨ 外国籍児童支援会議活動推進 事業費 【信州モデル創造枠予算】 国際課 FAX 026-232-1644 E-mail kokusai@pref.nagano.jp	350万円 [0円]	外国籍児童の就学を支援するため、県民の皆様のご協力をいただき設立した「外国籍児童支援会議」に対し負担金を交付することにより、同会議が行う外国籍児童就学支援プロジェクト(サンタ・プロジェクト)の継続的・安定的な実施を図ります。	350万円	要求どおり

事業名	予算額 [平成17年度予算額]	事業内容	要求額(12/21)	要求に対する査定経過
<p>⑨ 多文化共生フェスティバル開催 事業費 〔信州モデル創造枠予算〕</p> <p>国際課</p> <p>FAX 026-232-1644 E-mail kokusai@pref.nagano.jp</p>	<p>150万円</p> <p>[0円]</p>	<p>国籍や文化、個性の違いを尊重しあい、誰もが地域社会の一員としていきいき活躍することのできる「多文化共生社会」の実現を目指して、互いの国の文化とのふれあいや外国籍県民等と地域住民が交流するフェスティバルを開催します。</p> <p>開催場所：県内3か所 事業内容：音楽・舞踊・料理等文化の紹介 アトラクション等</p>	<p>(当初要求)</p> <p>0円</p> <p>(追加要求)</p> <p>150万円</p>	<p>-</p> <p>外国籍県民等の支援事業を検討する過程で、多文化共生社会の実現には、まず外国籍県民等と地域住民が交流し、互いの文化などを理解し合うことが必要という視点から、その機会としてフェスティバル事業を追加しました。</p>
<p>⑨ 信州「楽食」の一環としての職員 歯科検診事業費(福利厚生 事業)</p> <p>職員サポート課 FAX 026-235-7478 E-mail shokuin@pref.nagano.jp 保健厚生課 FAX 026-234-5169 E-mail hokenkou@pref.nagano.jp 警察本部厚生課 FAX 026-233-1125 E-mail police-kaikei@pref.nagano.jp</p>	<p>3836万8千円</p> <p>[0円]</p>	<p>信州「楽食」運動の一環として、職員の健康を維持し、より能率的な業務を行うことができるよう、定期健康診断を充実し職員の歯科検診を実施します。</p>	<p>(当初要求)</p> <p>0円</p> <p>(追加要求)</p> <p>3836万8千円</p>	<p>-</p> <p>信州「楽食」運動を各部局が連携して検討を進める過程で、職員の健康増進の観点から福利厚生事業として職員歯科検診事業を追加しました。</p>

事業名	予算額 [平成17年度予算額]	事業内容	要求額(12/21)	要求に対する査定経過
<p>福祉サービス評価推進事業費</p> <p>厚生課</p> <p>FAX 026-235-7485 E-mail kousei@pref.nagano.jp</p>	<p>415万2千円</p> <p>[1463万7千円]</p>	<p>福祉サービス第三者評価制度の普及啓発を推進し、福祉サービスの質の向上を図るとともに、利用者のサービス選択の一助となる情報を提供します。</p> <p>・長野県福祉サービス第三者評価推進委員会の開催 ・第三者評価機関・評価調査者の養成 ・サービス評価の普及啓発</p>	<p>415万2千円</p>	<p>要求どおり</p>
<p>中国帰国者愛心ネットワーク推進事業費</p> <p>【信州モデル創造枠予算】</p> <p>厚生課</p> <p>FAX 026-235-7485 E-mail kousei@pref.nagano.jp</p>	<p>9989万9千円</p> <p>[1億478万5千円]</p>	<p>中国帰国者にこころおだやかな日々を過ごしていただくため、中国帰国者愛心ネットワークを推進する以下の事業を引き続き実施します。</p> <p>・中国帰国者愛心使者事業 (毎月、給付金を給付します。)</p> <p>・医療通訳派遣事業 (病院等を受診する際に、医療通訳を派遣します。)</p> <p>②改・「陽だまり」講座開催事業(委託事業に変更) (気軽に集まることができる場所を確保します。)</p>	<p>1億9万9千円</p>	<p>県事業として実施してきた陽だまり講座を、NPO・ボランティア団体等への委託事業に変更することにより、経費の節減を図りました。</p>
<p>福祉医療費給付事業補助金</p> <p>【一部信州モデル創造枠予算】</p> <p>厚生課</p> <p>FAX 026-235-7485 E-mail kousei@pref.nagano.jp</p>	<p>39億6799万8千円</p> <p>[33億244万2千円]</p>	<p>市町村が行う、乳幼児、障害者等の医療費自己負担金の給付に対し助成します。</p> <p>・実施主体 市町村 ・補助率 1/2</p> <p>②改・少子化対策、子育て支援の充実を図るため、乳幼児外来診療の補助対象年齢を4歳未満から就学前に引き上げ、所得制限を廃止します。</p>	<p>42億6498万8千円</p>	<p>市町村実績及び診療報酬の減率改正を反映して所用額を見直しました。 新たに乳幼児医療費の所得制限を廃止することとしたので増額となりました。</p>

事業名	予算額 [平成17年度予算額]	事業内容	要求額(12/21)	要求に対する査定経過
<p>コモンズハウス(宅幼老所等)支援事業費</p> <p>【一部信州モデル創造枠予算】</p>	1億2603万2千円	<p>1 ② コモンズハウス(宅幼老所等)施設整備事業 NPO法人等が行う民家改修型の地域福祉拠点施設(宅幼老所、地域共生型生活ホーム等)への支援をします。</p> <p>(1) 施設整備 ・事業主体 市町村 ・補助率 県2/3 市町村1/3 ・補助限度額 改修 500万円 ・支援か所数 20か所程度</p> <p>(2) ③ 耐震改修整備 ・事業主体 市町村 ・補助率 県2/3 市町村1/3 ・補助限度額 100万円 ・支援か所数 5か所程度</p> <p>2 緊急宿泊支援事業 宅幼老所等が行う一時宿泊に必要な経費の一部を助成します。 ・実施主体 市町村 ・補助率 県1/2 市町村1/2 ・補助基準額 4,000円/日</p> <p>3 運営助成事業 地域福祉拠点施設(宅幼老所、地域共生型生活ホーム等)の運営に要する経費の一部を補助します。 ・実施主体 市町村 ・補助率 県1/2 市町村1/2 ・補助額(1か所当たり) 20万800円 ・重度加算額(1人当たり) 4万160円</p>	1億6715万6千円	<p>1 コモンズハウス施設整備事業 審査会に要する経費を要求しましたが、ゼロ予算事業で実施することとしました。</p> <p>施設整備事業については、実績を勘案し、補助件数を見直しました。 耐震改修整備については、件数を見直しました。</p> <p>2 緊急宿泊支援事業 要求どおり</p> <p>3 運営助成事業 補助基準単価を見直して事業費を節減しました。</p>

事業名	予算額 [平成17年度予算額]	事業内容	要求額(12/21)	要求に対する査定経過
コモンズ福祉課 FAX 026-235-7392 E-mail commons-fukushi@pref.nagano.jp	[2億5917万4千円]	4 職員研修事業 開設者研修、管理者研修、スタッフ研修を実施します。 5 アドバイザー派遣事業 実践者、税理士、社会保険労務士等をアドバイザーとして派遣します。		4 職員研修事業 研修講師の単価を見直して事業費を節減しました。 5 アドバイザー派遣事業 要求どおり
高齢者・障害者にやさしい住宅 改良促進事業費 【信州モデル創造枠予算】 コモンズ福祉課 FAX 026-235-7392 E-mail commons-fukushi@pref.nagano.jp	1億4000万円 [1億5000万円]	高齢者・障害者の居住空間を改善して、日常生活をできる限り自力で行えるよう支援することにより、在宅福祉の向上及び家庭介護者の負担軽減を図ります。 ・事業主体 市町村 ・補助率 県1/2 市町村1/2 ・補助限度額 90万円	1億5000万円	事業実績を勘案して、補助対象件数を見直しました。

事業名	予算額 [平成17年度予算額]	事業内容	要求額(12/21)	要求に対する査定経過
<p>障害者地域支え合い事業費</p> <p>【信州モデル創造枠予算】</p> <p>コモンズ福祉課 FAX 026-235-7392 E-mail commons-fukushi@pref.nagano.jp</p> <p>障害者自律支援室 FAX 026-234-2369 E-mail seikatsu-shien@pref.nagano.jp</p>	<p>1870万円</p> <p>[1840万円]</p>	<p>1 障害児社会参加促進事業費 障害児の社会参加の促進を図るため、障害児及びその家族を対象に、スポーツ・レクリエーション活動等を実施します。</p> <p>事業主体 県(NPO法人等に委託) 事業内容 休日等にレクリエーション活動等を実施</p> <p>2 障害者余暇活動支援事業補助金 障害者の週末等の余暇を充実し、社会参加を促進するために、定期的な余暇活動の場の提供や相談支援に対して助成します。</p> <p>事業主体 市町村(NPO法人等に補助) 補助率 県1/2 市町村1/2 対象か所 26か所 補助基準額 30万円</p>	<p>1870万円</p>	<p>要求どおり</p>
<p>更生支援事業費</p> <p>コモンズ福祉課 FAX 026-235-7392 E-mail commons-fukushi@pref.nagano.jp</p>	<p>274万円</p> <p>[64万円]</p>	<p>1 ② 長野県保護観察協会への事業費補助金</p> <p>・事業主体 長野県保護観察協会 ・補助率 1/2以内 ・事業内容 長野市、松本市に所在する2施設への助成</p> <p>2 ③ 更生保護施設を退所して就労をめざす人々たちへの支援として、住居を県が借り上げ、転貸することにより、退所者の生活の安定を図ります。</p> <p>・対象人員 10人</p>	<p>604万円</p>	<p>対象人数を10人として見直しました。</p>

事業名	予算額 [平成17年度予算額]	事業内容	要求額(12/21)	要求に対する査定経過
<p>⑨ 住民支え合い活動総合支援事業費</p> <p>【信州モデル創造枠予算】</p> <p>コモンズ福祉課 FAX 026-235-7392 E-mail commons-fukushi@pref.nagano.jp</p>	<p>1200万円</p> <p>[0円]</p>	<p>災害時住民支え合いマップづくりモデル地区の拡大と、平時の見守り活動の充実等により、住民同士で支え合う地域社会づくりを支援します。</p> <p>・事業主体 市町村 ・補助率 国1/3 県1/3 市町村1/3 ・補助限度額 300万円</p>	<p>4694万9千円</p>	<p>モデル地区におけるマップづくりまでは、ゼロ予算事業で実施することとし、マップ地区の拡大と平時の見守り活動の充実に取り組む市町村を支援することとしました。</p>
<p>⑨ 地域支援事業交付金</p> <p>高齢福祉課 FAX 026-235-7394 E-mail kourei@pref.nagano.jp</p>	<p>4億2207万1千円</p> <p>[0円]</p>	<p>要支援・要介護状態になる前から介護予防を推進するとともに、地域における総合的な相談・支援体制等を強化するため、市町村が行う地域支援事業について、その費用の一部を負担します。</p> <p>・事業主体 市町村 ・事業内容 介護予防事業 包括的支援事業 任意事業</p>	<p>4億2207万1千円</p>	<p>要求どおり</p>
<p>⑨ 心友・傾聴ボランティア養成事業費</p> <p>高齢福祉課 FAX 026-235-7394 E-mail kourei@pref.nagano.jp</p>	<p>295万円</p> <p>[0円]</p>	<p>高齢者が住み慣れた地域で心安らかに暮らしていけるよう、地域の高齢者による傾聴ボランティア事業を実施し、地域における高齢者の支え合いを推進します。</p>	<p>395万円</p>	<p>ターミナルケア支援事業は施設の自主的な活動に任せていくこととして事業費を節減しました。</p>

事業名	予算額 [平成17年度予算額]	事業内容	要求額(12/21)	要求に対する査定経過
介護サービス情報の公表事業費 高齢福祉課 FAX 026-235-7394 E-mail kourei@pref.nagano.jp	8471万5千円 [1966万6千円]	介護サービスの利用者がサービス提供事業者を自ら選択できるよう、事業者選択に必要な情報をインターネットで閲覧できる仕組みをつくります。 ・対象サービス 9サービス (訪問介護、訪問看護、介護老人福祉施設等) ・対象事業所数 2,000事業所	7622万6千円	制度の周知は最低限の経費で実施することとし、事業費を節減しました。
高齢者向け優良賃貸住宅供給促進事業費 【信州モデル創造枠予算】 高齢福祉課 FAX 026-235-7394 E-mail kourei@pref.nagano.jp	825万円 [300万円]	高齢者が地域で安心して生活できるように、高齢者向けの優良な民間賃貸住宅の促進に取り組む市町村を支援します。	825万円	要求どおり (当初予算要求は住宅部で行いましたが、福祉・医療との連携を強化して取り組む必要があることから、社会部に計上することとしました。)
⑨ 西駒郷改築事業費 障害福祉課 FAX 026-234-2369 E-mail fukushi@pref.nagano.jp	2億7594万6千円 債務負担行為 (6億4387万1千円) [0円]	西駒郷利用者の居住環境を改善するため、西駒郷の敷地内に新居住棟を建設します。 ・建設年度 平成18年度～19年度 ・建物の概要 利用者定員 60人 延床面積 2,800㎡ 木造平屋建て その他 太陽光、ペレットボイラーによる給湯などクリーンエネルギーを活用します。	2億7696万7千円 債務負担行為 (6億4387万1千円)	敷地利用計画策定審査委員会については、基本構想の見直しと併せて議論することとし事業費を節減しました。

事業名	予算額 [平成17年度予算額]	事業内容	要求額(12/21)	要求に対する査定経過
障害者自律支援事業費 障害福祉課 FAX 026-234-2369 E-mail fukushi@pref.nagano.jp	47億3147万9千円 [44億9501万6千円]	障害者自立支援法の施行に伴い、新たな自立支援給付の負担等を行うほか、利用者負担の減免事業や認定調査のための研修事業を実施し、円滑な法施行を図ります。 ・ 改 主な自立支援給付 居宅介護事業 短期入所事業 補装具交付・修理事業 グループホーム事業 更生医療給付事業 施設訓練等事業 ・ 新 社会福祉法人等減免事業 事業内容 社会福祉法人が利用者負担の減免を行う場合に助成します。	48億8643万円	認定調査のための研修事業について、県有施設を利用するなど会場使用料を節減して実施することとしました。
重症心身障害児(者)通園等事業費 【一部信州モデル創造枠予算】	1億7609万5千円	1 改 重症心身障害児(者)通園事業 在宅の重症心身障害児(者)のために、通園により訓練・指導等の必要な療育を行い、運動機能の低下を防止するとともにその発達を促します。併せて家庭における保護者の療育技術の習得を図ります。 実施か所 A型通園事業(1日の利用人員15人規模)1か所 B型通園事業(1日の利用人員5人規模)7か所 (うち1か所新規) 新 B型通園 一日の利用人員拡大(5人 8人)3か所	1億7792万8千円	障害者訪問看護サービス事業のうち、看護師配置の人員については、これまでの実績に基づき前年と同額とすることとしました。

事業名	予算額 [平成17年度予算額]	事業内容	要求額(12/21)	要求に対する査定経過
障害福祉課 FAX 026-234-2369 E-mail fukushi@pref.nagano.jp	[1億5183万3千円]	2 ㊦ 障害者訪問看護サービス事業 通所施設などに通う医療的ケアを必要とする障害児(者)の訪問看護サービスの利用に対して助成します。 平成18年度は、重症心身障害児(者)通園事業未実施の圏域で知的障害者入所更生施設通所部が重症心身障害児(者)を受け入れた場合、訪問リハビリテーションに要する費用を新たに対象とします。 事業主体 市町村 補助率 県1/2 市町村1/2		
高次脳機能障害者総合支援事業費 【信州モデル創造枠予算】 障害福祉課 FAX 026-234-2369 E-mail fukushi@pref.nagano.jp	392万6千円 [372万6千円]	高次脳機能障害者に対し、生活復帰・社会復帰訓練を行います。また、就労復帰に向けた支援を行います。 事業内容 ・県身体障害者リハビリテーションセンターで、日常生活・社会復帰訓練を行います。 ・拠点病院と就労支援機関とが連携し就労に向けた支援を行います。	640万2千円	作業療法士の増員については、現体制でも対応可能なため見送ることとしました。
作業所営業・技術パワーアップ事業費 【信州モデル創造枠予算】 障害者自律支援室 FAX 026-234-2369 E-mail seikatsu-shien@pref.nagano.jp	888万円 [1387万2千円]	障害者の自律を支援するため、民間と行政の連携・協働により、障害者授産施設等の活動の活性化を図ります。 事業主体 社会福祉法人・NPO法人等 事業内容 ・受注開拓コーディネーターの設置(民間事業者を選定) ・製品開発販売コーディネーターの設置(民間事業者を選定) ・魅力ある製品づくりアドバイザーの派遣	1158万7千円	県職員を県内4圏域の障害者総合支援センターへ駐在させ、駐在に係る経費については通常事務費で対応することとしました。

事業名	予算額 [平成17年度予算額]	事業内容	要求額(12/21)	要求に対する査定経過
障害者ITサポートセンター運営 事業費 【信州モデル創造枠予算】 障害者自律支援室 FAX 026-234-2369 E-mail seikatsu-shien@pref. nagano.jp	544万2千円 [549万9千円]	ITに関する総合的なサービス拠点として「障害者ITサポートセンター」を設置し、障害者の社会参加と就労の促進を図ります。 事業主体 県(NPO法人等に委託) 事業内容 ・障害者へのITに関する各種相談 対応、情報提供 ・パソコンボランティアの養成、 スキルアップ研修及び障害者 からの申請に応じた派遣 ・ITによる在宅就労支援	551万7千円	需用費、役務費について前年同額とすることとしました。
障害者地域生活移行推進事業 費 【信州モデル創造枠予算】	1722万2千円	1 精神障害者退院支援事業 地域の受け入れ条件が整えば精神科病院を退院することが可能な方に対し、地域生活を体験する訓練プログラムを作成し、プログラムに基づき支援員による支援を行い、地域生活移行を促進します。 実施主体 県(保健所) 対象者数 25人 2 ケア付きグループホーム運営事業補助金 常時ケアが必要な精神障害者のためのグループホームを運営する経費に対して助成します。 補助率 県1/2 市町村1/2 対象者 常時ケアが必要な重度精神障害者	1781万1千円	精神障害者退院支援事業の報酬単価、旅費、需用費を精査しました。

事業名	予算額 [平成17年度予算額]	事業内容	要求額(12/21)	要求に対する査定経過
障害者自律支援室 FAX 026-234-2369 E-mail seikatsu-shien@pref.nagano.jp	[738万1千円]	3 ③ 地域生活移行推進員設置事業 民間の知的障害者入所施設が、入所者の地域生活移行を行うために地域生活移行推進員を設置する経費に対し補助します。 補助対象 知的障害者入所更生(授産)施設を運営している社会福祉法人(4か所) 補助基準額 138万9千円(上限) 補助率 県1/2 実施者1/2 補助期間 1施設あたり2年間を限度とする		
障害者自律生活体験事業費 【信州モデル創造枠予算】 障害者自律支援室 FAX 026-234-2369 E-mail seikatsu-shien@pref.nagano.jp	526万5千円 [595万7千円]	障害者(児)が地域で自律した生活を送るため、宅幼老所やグループホーム等での宿泊体験に要する経費に対して助成します。 事業主体 市町村 補助率 県1/2 市町村1/2 対象人員 延べ1,650名	585万円	宿泊体験に要する経費を精査し、事業費を縮減しました。
障害者総合支援センター事業費 【一部信州モデル創造枠予算】 障害者自律支援室 FAX 026-234-2369 E-mail seikatsu-shien@pref.nagano.jp	2億5053万8千円 [2億5518万2千円]	障害者が安心して地域で暮らせるように、身体・知的・精神の3障害に対応する圏域ごとの相談支援センターを運営します。 設置か所 10圏域 人的配置 療育コーディネーター 身体障害者生活支援コーディネーター 知的障害者生活支援コーディネーター 精神障害者生活支援コーディネーター 障害者生活支援ワーカー 障害者就業支援ワーカー	2億7733万3千円	知的障害者生活支援コーディネーター2名、障害者生活支援ワーカー3名の増員については、現行人員体制の中で対応することとし、増員は見送ることとしました。

事業名	予算額 [平成17年度予算額]	事業内容	要求額(12/21)	要求に対する査定経過
<p>障害者ピアサポート事業費</p> <p>【信州モデル創造枠予算】</p> <p>障害者自律支援室 FAX 026-234-2369 E-mail seikatsu-shien@pref.nagano.jp</p>	<p>251万3千円</p> <p>[251万2千円]</p>	<p>障害者が地域で自律した生活をするために、障害者自身の力を活かし、自ら活動できる場所づくりと事業活動を支援します。</p> <p>事業主体 県(障害者の社会復帰に理解のある団体等に委託)</p> <p>事業内容 ・活動の場所づくり ・当事者活動の育成 ・ピアサポーター養成 ・当事者講師の養成 ・人材バンク機能 ・相談支援業務</p>	<p>251万3千円</p>	<p>要求どおり</p>
<p>里親支援事業費</p> <p>青少年家庭課 FAX 026-235-7390 E-mail seisyo@pref.nagano.jp</p>	<p>70万8千円</p> <p>[68万7千円]</p>	<p>児童相談所の職員を増員し、里親支援を専門的に担当する職員を配置することにより、里親の育成や里親候補者の掘り起しなど、総合的な里親制度の普及と里親委託を推進します。</p>	<p>897万6千円</p>	<p>児童相談所への職員の増員により、里親支援を専門的に推進する担当職員を配置することにし、里親総合支援員(嘱託員)の設置は見送りしました。</p>
<p>ホストファミリー(里親)体験事業費</p> <p>【信州モデル創造枠予算】</p> <p>青少年家庭課 FAX 026-235-7390 E-mail seisyo@pref.nagano.jp</p>	<p>374万1千円</p> <p>[407万7千円]</p>	<p>児童福祉施設に入所している子どもがホストファミリーと生活体験をすることにより家族的な絆を深め、子どもたちの社会性が育まれるよう支援します。</p>	<p>374万1千円</p>	<p>要求どおり</p>

事業名	予算額 [平成17年度予算額]	事業内容	要求額(12/21)	要求に対する査定経過
<p>児童虐待防止強化事業費</p> <p>【一部信州モデル創造枠予算】</p> <p>青少年家庭課 FAX 026-235-7390 E-mail seisyo@pref.nagano.jp</p>	<p>1160万5千円</p> <p>[1365万3千円]</p>	<p>1 ② 市町村等虐待防止ネットワーク支援事業</p> <p>市町村の児童相談機能を強化するとともに、民間団体と連携し地域の児童虐待防止ネットワークを強化し、虐待の未然防止を図ります。</p> <p>2 ② 児童虐待対応職員専門性強化事業</p> <p>児童虐待等により保護された子ども及び保護者に対応する職員へのカウンセリング研修を実施することにより、職員の専門性を強化します。</p> <p>3 児童虐待・DV24時間ホットライン</p> <p>児童虐待の通告・子ども全般の相談のほか、DVの通報や相談に24時間・365日応じます。緊急事案については児童相談所や女性相談センターに連絡をとり、速やかに必要な支援を行います。</p>	<p>1431万6千円</p>	<p>1 市町村等虐待防止ネットワーク支援事業</p> <p>被虐待児の親を支援するプログラムの作成については、他県の先進事例を取り入れて試行するなど、できる限り経費をかけない方法で行うこととしました。</p> <p>2 児童虐待対応職員専門性強化事業</p> <p>児童虐待対応等の専門的な研修に参加した職員が他の職員に技術を伝えるよう努めることとし、研修に参加する人数を見直しました。</p> <p>3 児童虐待・DV24時間ホットライン</p> <p>電話相談員に係る旅費や需用費などを精査し、経費を節減しました。</p>
<p>ひとり親家庭就業・自律支援事業費</p> <p>【信州モデル創造枠予算】</p>	<p>2296万円</p>	<p>母子家庭の母等の自律を支援するため、就業支援を行います。</p> <p>1 就業・自律支援センター事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就業支援員等により、多くの方を就業に結びつけます。 ・就業に有利なパソコン講座を開催します。 	<p>3589万7千円</p>	<p>1 就業・自律支援センター事業</p> <p>就業支援員については、現状の体制でも成果が上がっていることから、増員は見送ることとしました。</p>

事業名	予算額 [平成17年度予算額]	事業内容	要求額(12/21)	要求に対する査定経過
青少年家庭課 FAX 026-235-7390 E-mail seisyo@pref.nagano.jp	[3089万6千円]	2 職業能力開発事業 ・自律支援教育訓練給付事業 職業能力の開発を自発的に行う者に対して、教育訓練終了後「自律支援訓練給付金」を支給します。 (対象講座の受講料の4割:上限20万円) ・高等技能訓練促進事業 2年以上養成機関で修業する場合に、一定期間「高等技能訓練促進費」を支給し、資格取得を支援します。 (月額103,000円:上限12ヶ月)		2 職業能力開発事業 対象人数を本年度の実績により見込むこととしました。
(新) 諏訪湖健康学園分園型グループホーム運営事業費 青少年家庭課 FAX 026-235-7390 E-mail seisyo@pref.nagano.jp	1410万9千円 [0円]	諏訪湖健康学園の近隣民家を借り上げ、情緒障害児に対し、少人数の落ち着いた環境で個別に心理、教育、生活面の手厚いケアを行います。 ・入所定員 5人	1288万3千円	要求時よりも調度品等を充実するよう、需用費を増額しました。
DV被害者緊急避難支援事業 【信州モデル創造枠予算】 青少年家庭課 FAX 026-235-7390 E-mail seisyo@pref.nagano.jp	53万3千円 [53万3千円]	DV被害者が、緊急時に安全に避難できる場所を確保します。	62万1千円	DV被害による緊急避難件数について、前年度の実績により見込むこととしました。

事業名	予算額 [平成17年度予算額]	事業内容	要求額(12/21)	要求に対する査定経過
<p>⑨ 人身取引被害者支援事業費</p> <p>青少年家庭課 FAX 026-235-7390 E-mail seisyo@pref.nagano.jp</p>	<p>107万4千円</p> <p>[0円]</p>	<p>人身取引被害者を保護し、被害者が安全に本国へ帰国できるよう関係機関と連携しながら支援します。</p>	<p>213万1千円</p>	<p>人身取引被害の件数について、前年度の実績により見込むこととしました。</p>
<p>社会福祉施設等整備事業費</p> <p>【一部信州モデル創造枠予算】</p> <p>厚生課 FAX 026-235-7485 E-mail kousei@pref.nagano.jp</p> <p>高齢福祉課 FAX 026-235-7394 E-mail kourei@pref.nagano.jp</p> <p>障害福祉課 FAX 026-234-2369 E-mail fukushi@pref.nagano.jp</p> <p>障害者自律支援室 FAX 026-234-2369</p> <p>E-mail seikatsu-shien@pref.nagano.jp</p>	<p>12億5641万1千円</p> <p>[32億8000万6千円]</p>	<p>社会福祉施設等の施設整備に対して助成します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別養護老人ホーム 5施設 ・軽費老人ホーム(ケアハウス) 1施設 ・知的障害者デイサービスセンター 1施設 ・社会事業授産施設 2施設 ⑨・知的障害者グループホーム 34施設 ⑨・重度身体障害者グループホーム 1施設 ⑨・精神障害者グループホーム 5施設 ⑨・知的障害者日中活動の場拡大事業 7施設 ・障害者等共同作業所 5施設 ・精神障害者小規模訓練施設 5施設 	<p>29億2144万3千円</p>	<p>補助対象か所を精査し、事業費を見直しました。</p>

事業名	予算額 [平成17年度予算額]	事業内容	要求額(12/21)	要求に対する査定経過
<p>ドクターヘリ導入試行事業費</p> <p>[信州モデル創造枠予算]</p> <p>医務課 FAX 026-223-7106 E-mail imu@pref.nagano.jp</p>	<p>1億7019万2千円</p> <p>[1億2627万3千円]</p>	<p>救急搬送時間の短縮による救命率の向上、後遺症の軽減やへき地における救急医療体制の強化等を図るため、ドクターヘリ(ヘリコプターに医師や看護師が同乗し、救急現場から直ちに治療を開始できる)を運営する厚生連佐久総合病院に対し、引き続き助成します。</p> <p>・補助率 10/10</p>	1億7019万2千円	要求どおり
<p>救命救急センター運営事業補助金</p> <p>医務課 FAX 026-223-7106 E-mail imu@pref.nagano.jp</p>	<p>2億817万円</p> <p>[2億9807万円]</p>	<p>重篤救急患者の医療を確保するため、救命救急センターの運営に要する経費に対して助成します。</p> <p>・事業主体 長野赤十字病院 厚生連佐久総合病院 相澤病院</p> <p>・補助率 2/3</p>	2億9806万2千円	三位一体改革により公立病院への補助金が廃止され、市町村へ税源移譲されたことから、昭和伊南総合病院の救命救急センターは設置主体の伊南行政組合が自主財源で運営することとなりました。
<p>外国籍県民 心と身体の安心サポート事業費</p> <p>[信州モデル創造枠予算]</p> <p>医務課 FAX 026-223-7106 E-mail imu@pref.nagano.jp</p>	<p>174万2千円</p> <p>[174万5千円]</p>	<p>外国籍県民が抱える健康への不安等を解消するため、NPOへの委託により、外国籍県民を対象とする健康相談会や健診などを実施します。</p> <p>・実施場所 県下7地区</p>	174万2千円	要求どおり

事業名	予算額 [平成17年度予算額]	事業内容	要求額(12/21)	要求に対する査定経過
外国籍県民 救急医療確保対策 事業補助金 【信州モデル創造枠予算】 医務課 FAX 026-223-7106 E-mail imu@pref.nagano.jp	329万8千円 [408万円]	生命に危険があるなど緊急に治療が必要な外国籍県民が救急医療を受けた結果、未払いとなった医療費について、外国籍県民の命を守るという人道的観点から、医療機関に助成します。	500万円	平成17年度の補助実績見込みを踏まえ縮減しました。
自動体外式除細動器(AED)導入 事業費 医務課 FAX 026-223-7106 E-mail imu@pref.nagano.jp	1134万2千円 [2951万円]	心肺停止者に対して速やかに応急措置をとり、突然死を防ぐとともに、蘇生技術・知識の普及のため県有施設に自動体外式除細動器(AED)を配備します。 ・配備箇所 自律学校、県立歴史館、障害者福祉センターなど ・配備台数 30台	1473万2千円	AEDの購入経費について、平成17年度中に前倒して整備することにより台数を見直しました。 また、訓練用の機器について、必要最小限のものに見直しました。
(新) 救急救命士薬剤投与講習事業 費 医務課 FAX 026-223-7106 E-mail imu@pref.nagano.jp	1436万2千円 [0円]	平成18年4月から救急救命士による心臓機能停止者への薬剤(強心剤)投与が可能となることから、救急救命士の資格を有する消防職員を対象に、長野県消防学校において、必要な講習を実施します。	5960万4千円	高額な機器を購入からリースに変更することにより、経費負担を平準化しました。

事業名	予算額 [平成17年度予算額]	事業内容	要求額(12/21)	要求に対する査定経過
献血普及啓発事業費 薬務課 FAX 026-235-7398 E-mail yakumuka@pref.nagano.jp	539万6千円 [561万5千円]	医療に必要不可欠な血液製剤を安定的に供給するため、広く県民に対し各種啓発活動を実施することにより、献血への理解と協力を求め、献血者の確保を図ります。 ・幅広い啓発の集中実施・広報強化月間の設定 ・献血体験・実践の機会の提供 〔 献血ルーム体験運動 定例献血スポット定着運動 〕 ・若い世代への啓発 〔 ヤングコミュニケーション広告 学生ボランティアキャンペーン 〕	702万8千円	献血ヤングリーダーに対するユニフォーム支給を中止するほか、普及啓発のラジオスポット放送の内容を見直しました。
須坂病院整備事業費 県立病院課 FAX 026-223-7106 E-mail byoinshitsu@pref.nagano.jp	3億7283万円 [1億62万円]	新種の感染症に対する治療体制充実のため、平成17年度からの継続事業で感染症病棟を整備します。 また、在宅医療を一層推進するため、保健所支所と連携した訪問看護ステーションを整備します。	4億6151万円	災害時の医療体制を整備するための多目的フロア、災害派遣医療チーム(DMAT)用の医療器械等についても要求しましたが、感染症病棟・訪問看護ステーション等の整備に重点化することとしました。
⑨ 無医地区解消事業補助金 [信州モデル創造枠予算] 医務課 FAX 026-223-7106 E-mail imu@pref.nagano.jp	4902万1千円 [0円]	医療機関での受診が困難な、38の無医地区及び準無医地区の所在する市町村が、無医地区等と医療機関を結ぶ通院支援車を整備し運行する経費及び無医地区における出張診療所を運営する経費に助成します。 ・事業主体 市町村 ・補助率 10/10 (通院支援事業) 1/2 (出張診療所運営事業)	1949万円	無医地区医療コールセンター(電話による医療相談)の設置経費を要求しましたが、直接的に無医地区解消につながる通院支援事業を展開することとしたため増額となりました。

事業名	予算額 [平成17年度予算額]	事業内容	要求額(12/21)	要求に対する査定経過
自閉症・発達障害自律支援事業費 [一部信州モデル創造枠予算] 保健予防課 FAX 026-235-7170 E-mail hokenyob@pref.nagano.jp	1215万9千円 [1058万2千円]	自閉症・発達障害支援センターにおいて、自閉症児(者)やその家族への相談支援及び関係機関への技術指導等を行うほか、具体的な支援策の構築に向けて検討を行います。	1271万3千円	研修のための会場使用料や教材費等の経費について、必要最小限に見直しました。
ハローアニマル機能拡充事業費 [信州モデル創造枠予算] 食品環境課 FAX 026-232-7288 E-mail syokukan@pref.nagano.jp	259万円 [275万1千円]	動物の持つ癒し効果を活用し、高齢者・障害者・児童生徒に対する心身の健康づくりを推進するため、各種事業の他、身体障害者補助犬の普及啓発からリタイアまで、総合的な支援を行います。 地域猫活動支援事業 コムキャット認定事業 セラピードッグ育成事業 学校飼養動物支援事業 補助犬モニター調査・育成サポート事業 動物ふれあい訪問事業 など	325万4千円	リタイア犬ホスピス事業は、ゼロ予算事業で実施することとし、地域猫活動支援事業の委託料のうち人件費を見直しました。
小児初期救急医療体制整備事業費 [信州モデル創造枠予算] 医務課 FAX 026-223-7106 E-mail imu@pref.nagano.jp	2731万9千円 [1812万9千円]	開業小児科医等の交代制による「センター方式」などの小児初期救急医療体制整備を行う市町村等に対し運営費を助成します。 また、新たに夜間の小児救急電話相談を実施することにより、保護者の不安の解消を図るとともに、医療機関への受診の必要性に関する助言を行います。 ・「センター方式」などへの助成 6地区	2891万円	市町村等への助成について、1地区あたりの上限額を設定することにより見直しました。

事業名	予算額 [平成17年度予算額]	事業内容	要求額(12/21)	要求に対する査定経過
<p>⑨ がん診療連携拠点病院整備事業費</p> <p>【信州モデル創造枠予算】</p> <p>医務課 FAX 026-223-7106 E-mail imu@pref.nagano.jp</p>	<p>40万7千円</p> <p>[0円]</p>	<p>がん医療水準の地域格差を是正し、質の高いがん医療を提供できる、地域におけるがん診療の連携の拠点となる病院の早期の整備に向け、検討委員会を設置します。</p>	<p>1億2273万8千円</p>	<p>がん診療連携拠点病院の整備にかかる補助金も要求しましたが、厚生労働省から医療機関の指定の指針が示されるのが遅れたことから、補助金については、補正予算で対応することとしました。</p>
<p>⑨ 家庭医養成塾設置事業費</p> <p>【信州モデル創造枠予算】</p> <p>医務課 FAX 026-223-7106 E-mail imu@pref.nagano.jp</p>	<p>290万3千円</p> <p>[0円]</p>	<p>地域医療に熱意があり病気やけがを総合的に診療できる「家庭医」を養成するため、その指導に当たる医師の研修を行います。</p>	<p>290万3千円</p>	<p>要求どおり</p>
<p>⑨ 医学生修学資金貸与事業費</p> <p>【信州モデル創造枠予算】</p> <p>医務課 FAX 026-223-7106 E-mail imu@pref.nagano.jp</p>	<p>1200万円</p> <p>[0円]</p>	<p>地域医療を支える医師を確保するため、学校や出身地を問わず全国の医学生を対象に、修学資金を貸与します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象者 地域医療に対する情熱をもち、卒業後、長野県内のへき地診療所などに勤務する意思のある者 ・貸与月額 20万円 	<p>1620万円</p>	<p>貸与月額を25万円(専門課程は30万円)として要求しましたが、他県の制度等を検討し、一律20万円としました。</p>

事業名	予算額 [平成17年度予算額]	事業内容	要求額(12/21)	要求に対する査定経過
<p>⑨ 臨床研修病院合同説明会開催 事業費</p> <p>医務課 FAX 026-223-7106 E-mail imu@pref.nagano.jp</p>	163万8千円 [0円]	<p>県内外出身の臨床研修医をより多く確保し、県内への定着を図るため、首都圏において臨床研修病院等と共同で説明会を開催します。</p>	324万3千円	説明会の回数を3回から2回に減らすとともに、旅費、郵便代などを見直し節減しました。
<p>医療施設等施設・設備整備事業 費補助金</p> <p>医務課 FAX 026-223-7106 E-mail imu@pref.nagano.jp</p>	2663万円 [4億4592万6千円]	<p>救急医療の確保等、医療提供体制の整備のため、医療機関の設置者が行う施設・設備整備に対し助成します。</p> <p>・整備箇所 施設整備 2か所 設備整備 1か所</p>	1億4579万5千円	三位一体改革により、公立病院への補助金が廃止され、市町村へ税源移譲されたことから、公立病院の施設・設備整備は市町村が自主財源で実施することとなり、県の補助による整備箇所が8か所から3か所になりました。
<p>⑨ 県立木曽病院・阿南病院看護師 確保事業費</p> <p>県立病院課 FAX 026-223-7106 E-mail byoinshitsu@pref.nagano.jp</p>	960万円 [0円]	<p>木曽病院と阿南病院の看護師を確保するため、県立木曽看護専門学校に入学し、両病院へ就業を希望する看護学生に対して修学資金を貸与します。</p> <p>・貸与人数 1学年5人 ・貸与月額 8万円</p>	1200万円	貸与月額10万円で要求しましたが、県外の制度等を検討して月額8万円に見直しました。

事業名	予算額 [平成17年度予算額]	事業内容	要求額(12/21)	要求に対する査定経過
<p>⑨ 駒ヶ根病院改築事業費 (マスタープラン)</p> <p>県立病院課 FAX 026-223-7106 E-mail byoinshitsu@pref.nagano.jp</p>	<p>80万6千円</p> <p>[0円]</p>	<p>多様化する精神疾患に対応し、専門的で質の高い精神医療を提供するため、老朽化した病院の改築のマスタープラン(基本構想)を作成します。</p>	<p>600万円</p>	<p>マスタープラン作成にかかる委託料を要求しましたが、外部委員による駒ヶ根病院改築マスタープラン作成委員会により作成することとし、委員会の開催に必要な旅費、報償費を予算計上しました。</p>
<p>⑨ 木曽病院特色化推進事業費</p> <p>県立病院課 FAX 026-223-7106 E-mail byoinshitsu@pref.nagano.jp</p>	<p>1億3004万8千円</p> <p>[0円]</p>	<p>病院の特色化を推進し、木曽保健医療圏唯一の病院として救急医療の充実を図り、患者中心の安全で良質な医療サービスを提供するための施設改修を行います。</p>	<p>1億4500万円</p>	<p>訪問看護室、地域連携室等の充実についても要求しましたが、救急処置室、採血室等の整備に重点化することとしました。</p>
<p>⑨ 木曽病院リニアック整備事業費</p> <p>県立病院課 FAX 026-223-7106 E-mail byoinshitsu@pref.nagano.jp</p>	<p>3億2550万円</p> <p>[0円]</p>	<p>放射線治療によるがん治療体制を整備するため、老朽化したリニアックを精度の高い照射のできる装置に更新します。</p>	<p>3億2550万円</p>	<p>要求どおり</p>

事業名	予算額 [平成17年度予算額]	事業内容	要求額(12/21)	要求に対する査定経過
たばこ対策推進事業費 [信州モデル創造枠予算] 保健予防課 FAX 026-235-7170 E-mail hokenyob@pref.nagano.jp	480万6千円 [490万2千円]	「健康長寿ながの」のさらなる発展と「たばこによる害のない信州」を目指すため、たばこ対策を推進します。 「おいしい空気の環境づくり推進」信州おもてなし事業 禁煙セールスマン事業(ゼロ予算事業) 飲食店等受動喫煙防止対策支援事業 「笑顔で卒煙クリニック」開設事業 信州「ケムダン(煙断:禁煙)運動」の実施 未成年者の喫煙・飲酒状況等調査	635万8千円	喫煙が健康に及ぼす悪影響等、たばこに関する知識の普及啓発が大切であることから、飲食店講演会及び連絡会議に代わり、禁煙週間における講演会を実施することとしました。
(新) 「おでかけ保健所」開催事業費 医務課 FAX 026-223-7106 E-mail imu@pref.nagano.jp	130万2千円 [0円]	保健所職員が地域に直接出向き、各種健診や相談など保健所の持つ専門機能を提供することにより、保健所業務のPRと地域保健に関する意識の高揚を図ります。 実施回数 各保健所ごとに年2回	1002万5千円	高額な検査機器を購入せず、より気軽に多くの方が参加できる体組成検査や口腔内衛生検査などを重点的に実施することとしました。 また、栄養士、薬剤師等については保健所職員のみで対応することとしました。
(新) 児童虐待予防システムづくり事業費 保健予防課 FAX 026-235-7170 E-mail hokenyob@pref.nagano.jp	64万4千円 [0円]	子育て困難家族や、虐待の危険性のある親子を早期にキャッチできるスクリーニングを確立し、発見された親子に対し適切な支援を展開します。	251万4千円	心理判定員については、児童相談所の職員で対応することとしました。 虐待防止(予防)検討会については保健所職員等で検討を進めることとしました。

事業名	予算額 [平成17年度予算額]	事業内容	要求額(12/21)	要求に対する査定経過
<p>(新)</p> <p>噛むことで体も脳も活性化事業費 【信州モデル創造枠予算】</p> <p>保健予防課 FAX 026-235-7170 E-mail hokenyob@pref.nagano.jp</p>	<p>490万8千円</p> <p>[212万2千円]</p>	<p>よく噛むことは、丈夫な歯をつくる がんや生活習慣病を防ぐ 痴呆を防ぎ知能を高めるなどの効用があります。関係者と課題を共有しながら、それぞれの立場で県民に対し、噛むことを通じて食生活の大切さを発信します。</p> <p>正しい食生活普及研修会 信州「楽食キャラバン隊」派遣事業 食生活改善推進員養成講座 「歯と食」推進事業</p>	667万1千円	噛むことが体に及ぼす効用が多いことから、事業名を「すこやか信州食育発信事業」から変更し、事業を組み直しました。
<p>(新)</p> <p>就学時前児童むし歯ゼロ事業費 【信州モデル創造枠予算】</p> <p>保健予防課 FAX 026-235-7170 E-mail hokenyob@pref.nagano.jp</p>	<p>2314万7千円</p> <p>[0円]</p>	<p>すべての5歳児に歯科医院で個別歯科健診を実施し、よい歯でよく噛んで、生涯を通じて楽しくおいしく食べられる“からだ”の基礎をつくれます。</p> <p>5歳児「わたしの歯医者さん」事業 永久歯のむし歯ストップ事業</p>	(当初要求)	0円
			(追加要求)	2314万7千円
<p>感染症健康診断等予防対策事業費</p> <p>保健予防課 FAX 026-235-7170 E-mail hokenyob@pref.nagano.jp</p>	<p>2億585万2千円</p> <p>[388万9千円]</p>	<p>健康不安者に対する健康診断を実施し、公衆衛生の向上と感染症の発生予防を図ります。 また、抗インフルエンザウイルス薬(タミフル)を9万1千人分購入・備蓄し、新型インフルエンザの発生に備えます。</p>	2億586万3千円	健康診断に使用する備品の更新に伴う処分経費について、経常的な経費の中で対応することとしました。

事業名	予算額 [平成17年度予算額]	事業内容	要求額(12/21)	要求に対する査定経過
<p>⑨ 災害派遣医療チーム(DMAT) 体制整備事業費</p> <p>【信州モデル創造枠予算】</p> <p>医務課 FAX 026-223-7106 E-mail imu@pref.nagano.jp</p>	[0円]		1706万3千円	<p>(要求の考え方) 災害の急性期に救護活動を行う災害派遣医療チーム(DMAT)の活動に必要な医療機器等の整備に対する補助金を要求しました。</p> <p>(査定結果) 県内3か所の医療機関で、既に災害派遣医療チーム(DMAT)を整備済みであることから、当面、平成18年度の整備は見送り、今後の活動状況等に応じ検討していくこととしました。</p>
<p>⑨ 食の安全・安心モニター創設事業費</p> <p>食品環境課 FAX 026-232-7288 E-mail syokukan@pref.nagano.jp</p>	[0円]		405万2千円	<p>(要求の考え方) 食の安全・安心モニターを公募し、長野県食品衛生監視指導計画の策定に消費者の意見等を反映させるための経費を要求しました。</p> <p>(査定結果) ゼロ予算事業で実施することとしました。</p>
<p>⑨ こども病院ヘリポート整備事業費</p> <p>県立病院課 FAX 026-223-7106 E-mail byoinshitsu@pref.nagano.jp</p>	[0円]		1億6884万円	<p>(要求の考え方) ドクターヘリの本格運用により救急搬送数の増加が見込まれるため、立体ヘリポートの整備について要求しました。</p> <p>(査定結果) 現有ヘリポートを活用することとし、今後の利用状況を見ながら検討することとしました。</p>

事業名	予算額 [平成17年度予算額]	事業内容	要求額(12/21)	要求に対する査定経過
<p>在宅重度心身障害児(者)の健康を支える訪問歯科健診事業費</p> <p>【信州モデル創造枠予算】</p> <p>保健予防課 FAX 026-235-7170 E-mail hokenyob@pref.nagano.jp</p>	[268万円]		128万9千円	<p>(要求の考え方) 県歯科医師会に委託し、在宅の重度知的・身体障害児(者)を対象とした歯科健診及び歯科保健指導に係る経費について要求しました。</p> <p>(査定結果) 国庫補助事業の廃止に伴い、他の歯科保健事業の一部に組み入れ実施していくこととしました。</p>
<p>⑨ 駒ヶ根病院児童思春期外来施設増築事業費</p> <p>県立病院課 FAX 026-223-7106 E-mail byoinshitsu@pref.nagano.jp</p>	[0円]		4293万円	<p>(要求の考え方) 児童思春期精神疾患専用の外来施設整備について要求しました。</p> <p>(査定結果) 駒ヶ根病院改築事業と合わせて検討することとしました。</p>
<p>⑨ 精神科救急情報センター設置運営事業費</p> <p>保健予防課 FAX 026-235-7170 E-mail hokenyob@pref.nagano.jp</p>	[0円]		1533万円	<p>(要求の考え方) センター設置に係る運営費(相談員に対する手当及び開設に伴う初度調弁費等)について要求しました。</p> <p>(査定結果) 適切な情報センターのあり方について更に検討を加えることとしました。</p>

事業名	予算額 [平成17年度予算額]	事業内容	要求額(12/21)	要求に対する査定経過
<p>⑨ 駒ヶ根病院鑑定入院施設増築 事業費</p> <p>県立病院課 FAX 026-223-7106 E-mail byoinshitsu@pref.nagano.jp</p>	[0円]		2331万円	<p>(要求の考え方) 鑑定入院命令を受けた者の入院 施設整備について要求しました。</p> <p>(査定結果) 駒ヶ根病院改築事業と合わせて検 討することとしました。</p>
<p>⑨ こども病院リニアック整備事業費</p> <p>県立病院課 FAX 026-223-7106 E-mail byoinshitsu@pref.nagano.jp</p>	[0円]		3億2550万円	<p>(要求の考え方) 放射線治療によるがん治療体制を 維持するため、リニアックの更新につ いて要求しました。</p> <p>(査定結果) 高額医療器械の設備投資が重な るため、メンテナンスを強化し、更新 を延期することとしました。</p>
<p>⑨ 健康ウォーキング普及啓発 事業費</p> <p>保健予防課 FAX 026-235-7170 E-mail hokenyob@pref.nagano.jp</p>	[0円]		190万4千円	<p>(要求の考え方) コースの普及啓発に係る経費(リー フレット、コース認定看板の作成等) について要求しました。</p> <p>(査定結果) 普及啓発については、ゼロ予算事 業で対応することとしました。</p>

事業名	予算額 [平成17年度予算額]	事業内容	要求額(12/21)	要求に対する査定経過
<p>⑨ 信州ノンアスベスト環境推進事業費</p> <p>【信州モデル創造枠予算】</p> <p>地球環境課 FAX 026-235-7491 E-mail chikyu@pref.nagano.jp</p>	<p>302万6千円</p> <p>[0円]</p>	<p>アスベスト取扱い事業者周辺のアスベスト浮遊調査、県内の大気環境中のアスベスト濃度モニタリング調査等を実施します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業者周辺アスベスト浮遊調査 20か所 ・ アスベスト含有量調査 20検体 ・ 環境モニタリング調査 12か所 	<p>436万2千円</p>	<p>アスベスト含有量調査の検体数を事業者周辺アスベスト浮遊調査数に合わせるとともに、環境モニタリング調査地点数を見直しました。</p>
<p>⑨ 地球温暖化対策条例定着促進事業費</p> <p>【信州モデル創造枠予算】</p> <p>地球環境課 FAX 026-235-7491 E-mail chikyu@pref.nagano.jp</p>	<p>101万4千円</p> <p>[0円]</p>	<p>地球温暖化対策を県民、事業者、行政などの参加と協働により推進するために、条例の制定趣旨、内容等を県民等に周知するとともに、温室効果ガス排出削減につながる行動の定着を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県民説明会・出前講座等の開催 ・ パンフレット作成 3万部 ・ 省エネルギーソフト作成 	<p>157万円</p>	<p>パンフレットの単価を類似の印刷物の単価に合わせるとともに、印刷部数を見直しました。</p>
<p>信州省エネパトロール隊活動支援事業費</p> <p>【信州モデル創造枠予算】</p> <p>地球環境課 FAX 026-235-7491 E-mail chikyu@pref.nagano.jp</p>	<p>61万円</p> <p>[41万円]</p>	<p>地球温暖化対策を推進するため、企業等のエネルギー設備の省エネ対策を診断・指導する信州省エネパトロール隊の活動に対して助成します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 企業診断 1隊 3隊 ・ 診断企業数 30社 50社 	<p>61万円</p>	<p>要求どおり</p>

事業名	予算額 [平成17年度予算額]	事業内容	要求額(12/21)	要求に対する査定経過
エコアクション21認証取得事業費 地球環境課 FAX 026-235-7491 E-mail chikyu@pref.nagano.jp	323万5千円 [112万3千円]	長野県全ての機関に環境管理システム「エコアクション21」を導入し、温室効果ガスの削減及び環境配慮の推進を図ります。	323万5千円	要求どおり
⑨ 長野県環境防災基礎情報整備事業費 【信州モデル創造枠予算】 【事業提案】 地球環境課 FAX 026-235-7491 E-mail chikyu@pref.nagano.jp	300万4千円 [0円]	環境保全、観光の推進及び自主防災意識の向上を図るため、地域の研究者の協力のもと「新版長野県地質図」を作成します。	152万円	地質図の完成を当初より1年早めて平成19年度とし、編集委員会開催経費など必要経費を増額しました。
⑨ 再生可能エネルギー等を利用した環境に優しい山岳トイレ導入促進事業費 【信州モデル創造枠予算】 地球環境課 FAX 026-235-7491 E-mail chikyu@pref.nagano.jp	134万4千円 [0円]	県下の山岳地域に再生可能エネルギー等を利用した環境に優しいトイレの導入を進め、水源県である長野県の水環境を、源流域から保全していきます。 ・ し尿処理が未整備の山小屋への導入に向けた検討 ・ 民間企業の協力による実証実験の実施	(当初要求) 0円	-
			(追加要求) 134万4千円	平成17年12月県議会における山小屋での再生可能エネルギー利用に対する支援策に係る議論を踏まえ、山岳地域の環境保全をエネルギーとし尿処理の両面から取り組むこととしたため、新たに事業を追加しました。

事業名	予算額 [平成17年度予算額]	事業内容	要求額(12/21)	要求に対する査定経過
<p>⑨ 諏訪湖非特定汚染源負荷削減調査事業費</p> <p>水環境課 FAX 026-235-7366 E-mail mizukankyo@pref.nagano.jp</p>	<p>1572万1千円</p> <p>[0円]</p>	<p>平成19年度策定予定の第5期諏訪湖水質保全計画策定のため必要な非特定汚染源からの負荷量を把握し、流出水対策地区を指定するための調査を行います。</p> <p>・非特定汚染源負荷量調査 ・流出水対策調査</p>	<p>1572万1千円</p>	<p>要求どおり</p>
<p>⑨ 水道水源地域調査研究支援事業費 【信州モデル創造枠予算】</p> <p>水環境課 FAX 026-235-7366 E-mail mizukankyo@pref.nagano.jp</p>	<p>1600万円</p> <p>[0円]</p>	<p>岡谷市と山梨大学との地域連携事業として実施される、砥川水系からダムなしでも取水が可能となる方をテーマとする調査研究事業に対して助成します。</p> <p>・事業主体 岡谷市 ・事業実施期間 H18～19年度の2ヶ年</p>	<p>1600万円</p>	<p>要求どおり</p>
<p>水道水源確保支援事業費 【信州モデル創造枠予算】</p> <p>水環境課 FAX 026-235-7366 E-mail mizukankyo@pref.nagano.jp</p>	<p>370万円</p> <p>[570万円]</p>	<p>豊丘村(南部簡易水道)が実施するダムによらない新規水源確保に対し、「水道水源確保に係る県の支援策」に基づき助成します。</p> <p>・事業主体 豊丘村(南部簡易水道) ・事業内容 井戸掘削 1本 導水管布設L=800m ・補助率 1/10(一般分)</p>	<p>370万円</p>	<p>要求どおり</p>

事業名	予算額 [平成17年度予算額]	事業内容	要求額(12/21)	要求に対する査定経過
雨水の各戸貯留施設設置支援事業費 【信州モデル創造枠予算】 水環境課生活排水対策室 FAX 026-235-7399 E-mail seikatsuhaisui@pref.nagano.jp	660万円 [100万円]	浅川流域の住民が設置する雨水貯留施設に対して助成します。 ・補助率 1/2以内(2万円を上限) ・設置見込み 330基	100万円	浅川の流域対策を強力に進める必要があることから、補助額の上限を1万円から2万円に引き上げ、設置見込みを100基から330基に増やしました。
希少野生動植物保護対策事業費 【信州モデル創造枠予算】 環境自然保護課 FAX 026-235-7498 E-mail kankyousai@pref.nagano.jp	315万8千円 [133万3千円]	希少野生動植物保護条例に基づく実効性のある保護対策に取り組みます。 ・保護回復事業計画(一部生息地等保護区の指定を含む)の作成 ・希少野生動植物保護監視員の委嘱	376万9千円	希少野生動植物の監視や保護回復事業計画の策定に係る経費を見直し節減しました。
ビーナスライン沿線自然再生事業費 【信州モデル創造枠予算】 環境自然保護課 FAX 026-235-7498 E-mail kankyousai@pref.nagano.jp	412万2千円 [754万円]	生物多様性を確保するため、ビーナスライン沿線の在来植生再生を図ります。 ・美ヶ原台上歩道周辺及び園地において在来種の植生ゾーン整備 ・霧ヶ峰において、利用が集中する期間に合わせ大気調査等を実施 ・自然公園の維持管理に参加するボランティアに対する支援	444万2千円	ボランティアの手による在来種の植生ゾーンの整備区域を拡大し、県が整備する面積を見直しました。

事業名	予算額 [平成17年度予算額]	事業内容	要求額(12/21)	要求に対する査定経過
<p>⑨ 霧ヶ峰ラウンドバス事業費</p> <p>【信州モデル創造枠予算】 【事業提案】</p> <p>環境自然保護課 FAX 026-235-7498 E-mail kankyous@pref.nagano.jp</p>	<p>47万8千円</p> <p>[0円]</p>	<p>「歩く霧ヶ峰」を実現するために、ピーナスライン沿線に自家用車駐車場兼バスターミナルを設置し、ラウンドバスを運行します。</p> <p>・実施期間：7月15日～17日(3日間)</p>	<p>164万4千円</p>	<p>ラウンドバスの運行日数について、公園利用者の入込等を考慮して、「海の日」の祝日を含む連休の3日間に見直しました。</p>
<p>信州の登山道リフレッシュ事業費</p> <p>【信州モデル創造枠予算】</p> <p>環境自然保護課 FAX 026-235-7498 E-mail kankyous@pref.nagano.jp</p>	<p>300万円</p> <p>[100万円]</p>	<p>山岳環境の保全や登山者の安全を確保するため、登山道の日常的維持・補修を、登山道利用者からの協力金を活用して、山小屋等関係者と県が連携して実施します。</p> <p>・実施山域：自然公園全域 ・補助対象：登山道の維持・補修に必要な資材等の購入費 ・協力金：目標金額300万円 ・補助率：1/2</p>	<p>100万円</p>	<p>実施山域を北アルプスから県内の自然公園全域に拡大するため、協力金の目標金額を100万円から300万円に増額しました。</p>
<p>自然環境整備支援事業費</p> <p>環境自然保護課 FAX 026-235-7498 E-mail kankyous@pref.nagano.jp</p>	<p>2345万3千円</p> <p>[0円]</p>	<p>国定公園等において、市町村が行う施設整備に対して助成し、県内の国定公園等の整備を図ります。</p> <p>・事業主体：市町村 ・補助対象：歩道、標識等 ・補助率：45/100</p>	<p>2660万3千円</p>	<p>市町村と協議をした結果、事業計画の変更がありました。</p>

事業名	予算額 [平成17年度予算額]	事業内容	要求額(12/21)	要求に対する査定経過
<p>○ 廃棄物の発生抑制等による良好な環境の確保事業費</p> <p>【信州モデル創造枠予算】</p> <p>廃棄物対策課 F A X 026-235-7259 E-mail haikibut@pref.nagano.jp</p>	<p>981万1千円</p> <p>[0円]</p>	<p>「廃棄物の発生抑制等による良好な環境の確保に関する条例」の施行に伴い、良好な環境を確保するために必要な施策を実施します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 廃棄物発生抑制・資源化計画の策定 ・ 廃棄物処理施設計画協議の実施 ・ 環境モニタリングの実施 等 	<p>3546万9千円</p>	<p>発生抑制・資源化計画の策定、廃棄物処理施設計画協議、環境モニタリング及び広報等に係る経費について、会議等の開催回数や印刷部数等を見直し節減しました。</p>
<p>一般廃棄物減量化・資源化推進市町村協働事業費</p> <p>【信州モデル創造枠予算】</p> <p>廃棄物対策課 F A X 026-235-7259 E-mail haikibut@pref.nagano.jp</p>	<p>1000万円</p> <p>[2000万円]</p>	<p>廃棄物の減量化・資源化に先駆的な取組みを実施する市町村に対して助成します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 補助率 定額(1000万円を上限) ・ 補助対象 1市町村 	<p>3000万円</p>	<p>対象とする事業を、全県的なモデル性の高いものに限定することとしました。</p>
<p>長野県廃棄物処理事業団貸付金</p> <p>廃棄物対策課 F A X 026-235-7259 E-mail haikibut@pref.nagano.jp</p>	<p>14億8100万円</p> <p>[2億4000万円]</p>	<p>長野県廃棄物処理事業団の当面の運営資金を無利子で貸し付けます。</p>	<p>2億6500万円</p>	<p>県が建設計画から運営までかかわるとしてきた公共関与による廃棄物処理施設の整備を、公共が関与する監視・苦情処理体制の構築による優良な民間事業者の参入を促す方針に改めたことに伴い、県廃棄物処理事業団の運営資金を全額貸し付けることとしたため追加要求しました。</p>

事業名	予算額 [平成17年度予算額]	事業内容	要求額(12/21)	要求に対する査定経過
信州リサイクル製品認定事業費 【信州モデル創造枠予算】 廃棄物対策課 F A X 026-235-7259 E-mail haikibut@pref.nagano.jp	72万8千円 [92万6千円]	リサイクル製品の認定及び利用促進を図ります。 ・ 信州リサイクル製品の認定 ・ 認定製品の周知及び率先利用	92万4千円	リサイクル製品の啓発に係る経費を見直し、節減しました。
⑨ 放置廃棄物等調査事業費 【信州モデル創造枠予算】 廃棄物監視指導課 F A X 026-235-7259 E-mail kanshi@pref.nagano.jp	820万1千円 [0円]	原因者が行方不明等の理由により大量の産業廃棄物が放置されたか所について、廃棄物調査等を行い、撤去指導の推進と住民不安の解消を図ります。 放置廃棄物等調査実施か所 3か所 ・ 廃棄物の状況、排出元等の調査、原因者・関係者に対する撤去指導 ・ 周辺環境影響調査 ・ 一時保全対策	865万6千円	消耗品及び委託料等の経費を見直し、節減しました。
不法投棄防止夜間監視委託事業費 【信州モデル創造枠予算】 廃棄物監視指導課 F A X 026-235-7259 E-mail kanshi@pref.nagano.jp	388万5千円 [537万円]	夜間監視パトロールにより、産業廃棄物の大規模不法投棄の防止を図ります。 ・ 産業廃棄物運搬車両等の夜間監視業務を民間委託により実施	583万円	平成17年度の執行状況を踏まえて、委託日数等を精査しました。

事業名	予算額 [平成17年度予算額]	事業内容	要求額(12/21)	要求に対する査定経過
不法投棄監視連絡員配置事業費 廃棄物監視指導課 F A X 026-235-7259 E-mail kanshi@pref.nagano.jp	857万円 [1047万8千円]	廃棄物の不法投棄防止のため、不法投棄監視連絡員を配置します。 ・不法投棄監視連絡員の増員(75名 100名)	857万円	要求どおり
消費者被害緊急防止対策事業費 [一部信州モデル創造枠予算] 生活文化課 FAX 026-234-6579 E-mail seibun@pref.nagano.jp	5477万2千円 [4313万3千円]	架空請求・ヤミ金融・悪質リフォーム等による消費者トラブルの多発に対して相談、あっせん・指導及び被害の未然防止の施策を緊急に講じます。 ・相談体制の充実 消費生活相談員の報酬改定 苦情処理専門員に司法書士を配置 ・消費者への普及啓発 消費者被害防止のための情報提供、教育の推進	4955万5千円	全国で最も相談件数が多く、また相談内容も複雑多岐にわたっている業務実態を考慮し、相談員の報酬単価を引き上げたため、増額となりました。
2006サイトウ・キネン・フェスティバル松本開催事業費 生活文化課 FAX 026-234-6579 E-mail seibun@pref.nagano.jp	5000万円 [5000万円]	2006サイトウ・キネン・フェスティバル松本を開催します。 ・期 間：平成18年8月17日(木)～9月12日(火) ・公演数：17公演	5000万円	要求どおり

事業名	予算額 [平成17年度予算額]	事業内容	要求額(12/21)	要求に対する査定経過
NPO活動環境整備事業費 [一部信州モデル創造枠予算] 生活文化課NPO活動推進室 FAX 026-232-2234 E-mail npo@pref.nagano.jp	1091万5千円 [1072万5千円]	新たな公益サービスの担い手であるNPOの自律を支援するため、活動環境の整備を図ります。 ・NPOマネジメント支援事業 ・NPO活動助成事業 ・NPO活動振興資金利子補給事業	1091万5千円	要求どおり
(新) 排出事業者適正処理指導事業費 [信州モデル創造枠予算] 廃棄物監視指導課 FAX 026-235-7259 E-mail kanshi@pref.nagano.jp	 [0円]		1165万円	(要求の考え方) 排出事業者に対し廃棄物の適正処理を指導するため、行政嘱託員を4地方事務所に配置する経費を要求しました。 (査定結果) 職員による立入検査を充実し、排出事業者に対する適正処理を指導することとしました。

事業名	予算額 [平成17年度予算額]	事業内容	要求額(12/21)	要求に対する査定経過
<p>小規模事業経営支援事業補助金(チャレンジ枠事業)</p> <p>【信州モデル創造枠予算】</p> <p>産業政策課 FAX 026-235-7496 E-mail sansei@pref.nagano.jp</p>	<p>5000万円</p> <p>[8000万円]</p>	<p>商工団体の自律性と補助事業の透明性を高めるとともに、競争による地域経済の活性化を図るため、商工団体の提案を外部評価委員の審査により採択する公募型事業を実施します。</p>	<p>5000万円</p>	<p>要求どおり</p>
<p>⑨ 起業支援能力向上事業費</p> <p>【信州モデル創造枠予算】</p> <p>ビジネス誘発課 FAX 026-235-7496 E-mail business@pref.nagano.jp</p>	<p>103万9千円</p> <p>[0円]</p>	<p>県内での起業を促進するため、チャレンジ起業相談室のコーディネーターなど起業支援者の能力の向上を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・起業支援事例研究会の開催 ・創業者との意見交換会の開催 ・起業支援手引書の作成 <p>(また、わか者の起業については、「わか者起業支援資金」を設け、資金面からも支援を行います。)</p>	<p>1275万8千円</p>	<p>起業の支援策については、効果的な方策を検討し、起業支援能力向上事業に事業内容を変更して実施することとしました。</p> <p>(要求時の事業内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> わか者起業支援事業(785万6千円) ・わか者専用の創業相談窓口の設置 ・創業準備のためのオフィスの提供 よそ者起業支援事業(490万2千円) ・県外者専用の創業相談窓口の設置

事業名	予算額 [平成17年度予算額]	事業内容	要求額(12/21)	要求に対する査定経過
中小企業融資制度資金 【一部信州モデル創造枠予算】 ビジネス誘発課 FAX 026-235-7496 E-mail business@pref.nagano.jp	577億6259万6千円 [622億2737万7千円]	金融機関、長野県信用保証協会等と協調し、中小企業者に低利な資金をあっせんするとともに、信用保証料を一部補助します。 融資目標額 800億円	577億585万2千円	平成17年12月末の融資実績を考慮して増額しました。
環境調和支援資金	(再掲) 1億5476万6千円 [0円]	信州を環境ビジネスの先進地とし、また、県民の安全安心な生活と商工業の調和を図るため、環境規制強化への対応や環境保全施設の設置等に加え、新たにアスベスト除去等を対象として必要な資金をあっせんします。 融資目標額 15億円	1億5443万6千円	平成17年12月末の融資実績を考慮して増額しました。
(新) わか者起業支援資金	(再掲) 1億2097万3千円 [0円]	県内でのわか者による起業を促進するため、創業に必要な資金を低利にあっせんします。 融資目標額 6億円 貸付利率 年1.5%	1億2057万5千円	平成17年12月末の融資制度資金の実績を参考にして必要経費を積算しました。
中小企業技術開発促進事業費 【一部信州モデル創造枠予算】 産業技術支援課 FAX 026-235-7197 E-mail sangi@pref.nagano.jp	4234万5千円 [7332万2千円]	1 産学官共同研究補助事業 大学や試験研究機関等と連携して技術開発を行う中小企業等に対し、経費の一部を補助することにより、中小企業の技術開発力の強化を図ります。 2 3×3産業商品試作費補助事業 健康・福祉、環境、教育分野の商品試作とPRを行う中小企業等に対し、経費の一部を補助することにより、3×3産業の創出を図ります。	4353万7千円	審査会の経費等を精査して節減しました。

事業名	予算額 [平成17年度予算額]	事業内容	要求額(12/21)	要求に対する査定経過
オープンサイト設備改修事業費 産業技術支援課 FAX 026-235-7197 E-mail sangi@pref.nagano.jp	2019万2千円 [0円]	工業技術総合センターに設置されているオープンサイト(開放型電磁波測定施設)の測定機器を更新し、県内製造業の製品開発を支援します。	1億313万9千円	本体設備の改修については平成19年度以降の予算の中で引き続き対応することとし、平成18年度はまず測定機器の更新を行うこととしました。
環境配慮型企業投資応援助成金 【信州モデル創造枠予算】 ビジネス誘発課 FAX 026-235-7496 E-mail business@pref.nagano.jp	10億2140万円 [2億円]	ものづくり産業の県内での設備投資を応援するため、環境に配慮した工場等の新增設を行う企業に対して助成します。 助成要件 ・減価償却資産(家屋、機械設備)の取得額10億円以上 ・新規常勤雇用者10人以上 助成額 ・減価償却資産の取得額の10%以内(限度額3億円)	10億2140万円	要求どおり
⑨ 県営産業団地分譲成約報酬制度事業費 ビジネス誘発課 FAX 026-235-7496 E-mail business@pref.nagano.jp	 [0円]	県営産業団地の分譲促進を図るため、県営産業団地への立地を希望する企業の情報を募り、土地売買契約に至った場合には情報提供者に対して成約報酬を支払います。 報酬額 分譲代金の2%	375万9千円	成約ごとに補正予算で対応することとしました。また、報酬額は分譲代金の2%に引き上げました。(要求は1%)

事業名	予算額 [平成17年度予算額]	事業内容	要求額(12/21)	要求に対する査定経過
<p>経営支援コーディネート事業費</p> <p>【一部信州モデル創造枠予算】</p> <p>ビジネス誘発課 FAX 026-235-7496 E-mail business@pref.nagano.jp</p>	<p>3184万7千円</p> <p>[3893万8千円]</p>	<p>経営革新等の総合的な課題の解決や新たな起業(創業)、新分野進出を促進するため、企業経営の経験や知識の豊富な人財をコーディネーターとして中小企業振興公社に設置し、中小企業を支援します。</p>	3184万7千円	<p>より効果的な支援を実施していくため、中小企業振興公社の支援体制を見直すことに伴い、総合的創業支援事業と経営支援コーディネート事業を統合しました。</p>
<p>環境対応技術支援事業費</p> <p>産業技術支援課 FAX 026-235-7197 E-mail sangi@pref.nagano.jp</p>	<p>238万1千円</p> <p>[257万2千円]</p>	<p>持続可能な循環型社会を目指し、環境にやさしいものづくりを行うための3R技術(リデュース、リユース、リサイクル)を促進するため、廃棄物減量化やリサイクル技術について課題を抱える企業に専門家を派遣し、具体的な助言を行います。</p> <p>また、環境物質規制法に関する基礎的知識や最新の動向、対応策についてのセミナーを開催します。</p>	245万8千円	<p>セミナーの講師謝金を精査して削減しました。</p>
<p>信州ブランド戦略推進事業費</p> <p>【一部信州モデル創造枠予算】</p> <p>信州ブランド・観光戦略局 信州ブランド戦略チーム FAX 026-224-8751 E-mail brand@pref.nagano.jp</p>	<p>2212万3千円</p> <p>[3443万2千円]</p>	<p>産・学・民・官が協働で策定した「信州ブランド戦略」に基づき、産業界や学术界と連携をとりながら、信州発の強いブランドをつくる基盤構築(産学民官のネットワーク構築、ブランドフォーラムの開催、サービス向上に結びつく事業者への支援等)を推進します。</p>	1億1257万7千円	<p>統一感のあるデザインのあり方や、ファンクラブの設置については、実施に向けてさらに検討することとしました。</p>

事業名	予算額 [平成17年度予算額]	事業内容	要求額(12/21)	要求に対する査定経過
<p>観光ブランド日本一“信州”構築事業費 【一部信州モデル創造枠予算】</p> <p>信州ブランド・観光戦略局 観光・物産振興チーム FAX 026-224-8751 E-mail kanko@pref.nagano.jp</p>	<p>1億4723万5千円</p> <p>[1億5596万5千円]</p>	<p>信州の魅力、世代に応じて戦略的に情報発信し、信州への誘客を促進するとともに、信州を訪れるお客様の具体的な受入環境の整備や、リピーターの創出などを行い、観光ブランド“信州”を確立します。信州のお土産の安心・正直な原料原産地表示を推進し、信州を訪れるお客様の満足度の向上を図ります。</p>	<p>7億3793万3千円</p>	<p>プロモーション活動の一部については、職員自らが行うことにより対応するなど、経費節減のための見直しを行いました。</p> <p>観光宣伝、誘客促進や物産振興を包括的に実施することが効果的であるため、「観光マーケティング支援事業」を「観光ブランド日本一“信州”構築事業」に統合しました。</p> <p>また、事業内容の精査により、「イールドの高い“信州”ブランドPR戦略事業」については、「信州みやげ原料原産地表示推進事業」により推進することとしました。</p>
<p>生活産業総合振興対策事業費</p> <p>産業技術支援課 FAX 026-235-7197 E-mail sangi@pref.nagano.jp</p>	<p>1010万7千円</p> <p>[1385万6千円]</p>	<p>停滞傾向にある伝統的工艺品産業等、生活産業の生活空間提案型産業への転換を通じた活性化を図るため、産地等における若手リーダー育成、生活空間デザイン力向上のためのセミナー開催、伝統技能の伝承事業等に対して支援します。</p> <p>また、市場開拓を支援するため、産地等における生活提案型の常設展示事業に対して助成します。</p>	<p>1010万7千円</p>	<p>要求どおり</p>
<p>商品化・販路開拓支援事業費</p> <p>【信州モデル創造枠予算】</p> <p>ビジネス誘発課 FAX 026-235-7496 E-mail business@pref.nagano.jp</p>	<p>3466万8千円</p> <p>[3670万5千円]</p>	<p>中小企業や中小企業グループの商品開発、販路開拓を促進するため、商品企画や営業経験豊富な人財をアドバイザーとして中小企業振興公社に設置し、支援します。</p>	<p>3469万4千円</p>	<p>アドバイザー活動経費について精査し見直しました。</p>

事業名	予算額 [平成17年度予算額]	事業内容	要求額(12/21)	要求に対する査定経過
<p>信州ものづくりスキルアップ事業費</p> <p>【信州モデル創造枠予算】</p> <p>雇用・人財育成課 FAX 026-235-7197 E-mail koyo@pref.nagano.jp</p>	<p>5681万1千円</p> <p>[5217万3千円]</p>	<p>企業や受講者のニーズに応じた実践的な「ものづくり人財」の育成を行うとともに、長年培った技術・技能を持つ方々を講師人財として発掘し、県内企業に紹介するためのコーディネーターを新たに配置し、製造業などの人材育成を支援します。</p> <p>120コース(予定者:600人) コーディネーターの配置 1名</p>	5747万1千円	<p>技・わざ信州セカンドステージ事業の講師招聘の仕組みを当事業に統合し、技術・技能の継承を望む中小企業等に対し、長年培った様々な技術・技能を持つ方々をマッチングさせるため、コーディネーターを新たに配置することとしたほか、講習会の実施日数を実績により精査しました。</p>
<p>デュアルシステム訓練事業費</p> <p>【信州モデル創造枠予算】</p> <p>雇用・人財育成課 FAX 026-235-7197 E-mail koyo@pref.nagano.jp</p>	<p>3639万9千円</p> <p>[3565万8千円]</p>	<p>若年者の雇用促進と職場定着を図るため、技術専門学校等での基礎訓練(OFF-JT)と企業での一定期間の実習訓練(OJT)とが一体となった職業訓練を行います。</p> <p>実施場所 長野・飯田・伊那技術専門学校 募集人員 各10名</p>	3639万9千円	<p>要求どおり</p>
<p>ジョブカフェ信州運営事業費</p> <p>【信州モデル創造枠予算】</p> <p>雇用・人財育成課 FAX 026-235-7197 E-mail koyo@pref.nagano.jp</p>	<p>6743万6千円</p> <p>[7898万円]</p>	<p>若年者の就業を支援するため、キャリア・コンサルティング、職業情報の提供等のサービスをワンストップで行うジョブカフェ信州(若年者就業サポートセンター)の事業を実施します。</p> <p>キャリア・コンサルティングの実施 職業能力開発の支援 職業紹介及び就職情報の提供 若者就業実体験チャレンジ事業</p>	8073万1千円	<p>若者就業実体験チャレンジ事業については、委託事業とせず直接実施することとし、能力速成支援事業については、実績を勘案しました。</p>

事業名	予算額 [平成17年度予算額]	事業内容	要求額(12/21)	要求に対する査定経過
職業紹介事業費 【信州モデル創造枠予算】 雇用・人財育成課 FAX 026-235-7197 E-mail koyo@pref.nagano.jp	2483万3千円 [3261万1千円]	障害者、母子家庭の母、中国帰国者等の就業の場の拡大を図るため、きめ細やかな職業相談・求人開拓・職業紹介による就業支援を行います。 求人開拓員を地方事務所に10名配置	3008万4千円	求人開拓員のキャリアコンサルタント研修の経費等を見直しました。
障害者民間活用委託訓練事業費 雇用・人財育成課 FAX 026-235-7197 E-mail koyo@pref.nagano.jp	5962万3千円 [4121万8千円]	障害者の職業能力開発の機会を拡大するため、障害者の能力・適性などに応じた多様な訓練をNPO法人や民間教育訓練機関等に委託して実施します。 訓練コースは、座学を主体とした知識・技能習得訓練コースと、企業実習主体の実践能力習得訓練コースを機動的に実施します。 平成18年度は、就業前訓練を重視したコースを新設するとともに、障害者職業訓練コーディネーターを2名増員し事業の充実を図ります。	5962万3千円	要求どおり
長野県トライアル雇用(試行的雇用)支援事業費 【信州モデル創造枠予算】 雇用・人財育成課 FAX 026-235-7197 E-mail koyo@pref.nagano.jp	1183万8千円 [1540万円]	依然厳しい雇用情勢にある建設業関連離職者の雇用安定を図るため、働き盛りの世代を対象としたトライアル雇用事業を実施します。 対象者 35歳以上45歳未満の建設業関連離職者 予定人員 80人 支給額 事業主に対し、1名当たり5万円を支給(3か月限度)	1471万8千円	雇用情勢が回復基調にあることから、実績を勘案して対象予定人員を100人から80人に減らして実施することとしました。

事業名	予算額 [平成17年度予算額]	事業内容	要求額(12/21)	要求に対する査定経過
<p>⑨ コモンズ賑わい創出支援事業費 【信州モデル創造枠予算】</p> <p>産業政策課 FAX 026-235-7496 E-mail sansei@pref.nagano.jp</p>	[0円]		3000万円	<p>(要求の考え方) まちづくりに意欲的に取り組む商店街等に対する補助金を要求しました。</p> <p>(査定結果) コモンズ支援金を活用して実施することとしました。</p>
<p>⑨ 知的クラスター事業化支援事業費</p> <p>産業技術支援課 FAX 026-235-7197 E-mail sangi@pref.nagano.jp</p>	[0円]		2240万円	<p>(要求の考え方) 長野・上田地域知的クラスター創成事業で得られた成果を県内中小企業に波及させるため、企業が成果を利用して商品化する場合に要する経費への補助金と、工業技術総合センターが企業と共同で実施する成果の応用開発に要する経費を要求しました。</p> <p>(査定結果) 企業が成果を利用して商品化する場合の経費補助については、産学官共同研究補助金において対応することとし、また、工業技術総合センターが企業と共同で実施する成果の応用開発については、同センターの既存の受託研究の中で対応することとしました。</p>

事業名	予算額 [平成17年度予算額]	事業内容	要求額(12/21)	要求に対する査定経過
<p>⑨ 技・わざ信州セカンドステージ 事業費</p> <p>【信州モデル創造枠予算】</p> <p>雇用・人財育成課 FAX 026-235-7197 E-mail koyo@pref.nagano.jp</p>	<p>[0円]</p>		<p>1484万2千円</p>	<p>(要求の考え方) 首都圏在住でリタイア、セミリタイアをし、長年培った技術や技能を活かしたいと考えている方々を技術・技能(ものづくり)研修の講師として招聘し、県内企業の人財育成を図るための経費を要求しました。</p> <p>(査定結果) 事業内容が関連している信州ものづくりスキルアップ事業に統合して実施することとしました。</p>

事業名	予算額 [平成17年度予算額]	事業内容	要求額(12/21)	要求に対する査定経過								
<p>信州農業再生戦略プロジェクト事業費</p> <p>【信州モデル創造枠予算】</p> <p>農政課 FAX 026-235-7393 E-mail nousei@pref.nagano.jp</p> <p>農業技術課 FAX 026-235-8392 E-mail nougi@pref.nagano.jp</p> <p>畜産課 FAX 026-232-0764 E-mail chikusan@pref.nagano.jp</p>	<p>5533万4千円</p> <p>[5094万2千円]</p>	<p>農業は「命を育む産業」であり、健全な「大気、水、土」がなくては成り立たないという基本に立ち返り、環境に負荷を与える農業から自然と共生する農業への転換を県民と共に取り組みます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・耕種農家と畜産農家の連携による土づくりの推進 ・化学肥料・農薬を50%以上削減し栽培する営農集団等への支援 ・代替技術導入への支援 ・「レス・ザン50の里」づくり事業 ・先駆的取り組みを行う農業グループへの活動支援 ・民間レス技術の解析、相伝の促進 <p>事業主体 県、市町村、農業団体、 営農集団等</p> <p>補助率 定額、1/2、1/3、1/4</p>	<p>5828万9千円</p>	<p>土づくり推進事業については、展示ほの設置と研修会の実施を見直しました。</p> <p>レス・ザン50の里づくりのうち、水稻の有機栽培者を講師とした普及啓発事業について見直しを行いました。</p> <p>先駆的農業グループへの活動支援について、補助するグループ数を平成17年度と同数としました。</p>								
<p>次代を拓く農業技術開発事業費（農政試験研究関係費）</p> <p>農業技術課 FAX 026-235-8392 E-mail nougi@pref.nagano.jp</p> <p>園芸特産課 FAX 026-235-7483 E-mail entoku@pref.nagano.jp</p>	<p>4億9096万3千円</p> <p>[5億2726万9千円]</p>	<p>農政関係試験場では、環境と共生する農業技術の開発や、消費者に愛される信州ブランドづくりに役立つ新品種の開発などを行います。</p> <table border="1" data-bbox="831 1106 1341 1238"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>予算計上額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>運 営 費</td> <td>1億5905万2千円</td> </tr> <tr> <td>研 究 費</td> <td>3億1557万4千円</td> </tr> <tr> <td>施設整備費</td> <td>1633万7千円</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	予算計上額	運 営 費	1億5905万2千円	研 究 費	3億1557万4千円	施設整備費	1633万7千円	<p>4億9675万6千円</p>	<p>公用車の更新を先送りするなど、経費の節減を図ることとしました。</p>
区 分	予算計上額											
運 営 費	1億5905万2千円											
研 究 費	3億1557万4千円											
施設整備費	1633万7千円											

事業名	予算額 [平成17年度予算額]	事業内容	要求額(12/21)	要求に対する査定経過
<p>⑨ 地域の食材満載給食支援 事業費</p> <p>【信州モデル創造枠予算】</p> <p>農政課 FAX 026-235-7393 E-mail nousei@pref.nagano.jp</p>	<p>900万円</p> <p>[0円]</p>	<p>学校給食への地域食材の安定的供給及び供給量の拡大を図るために、主要食材であるにんじん、たまねぎ、じゃがいもを中心とした供給体制整備を進めます。</p> <p>また、子供たちや住民に農業体験や交流の場所をつくり、食と農への関心を高めます。</p> <p>事業主体 県、市町村</p> <p>補助率 1/2</p>	<p>1161万7千円</p>	<p>市町村においての主要給食食材3品目の生産供給を重点的に支援することとし、ブロック単位で行う地産地消推進大会と、県全域で统一的に作成利用するPR用の看板・ステッカー等の作成について見直しました。</p>
<p>長野県原産地呼称管理制度 運営事業費</p> <p>農政課 FAX 026-235-7393 E-mail nousei@pref.nagano.jp</p>	<p>1565万7千円</p> <p>[1600万2千円]</p>	<p>信州農産物のブランドを確立するために創設した長野県原産地呼称管理制度の運営や制度のPRを行います。</p> <p>制度化された品目：ワイン、日本酒、米、焼酎 新規品目：牛肉 新規検討品目：そば粉</p>	<p>2052万3千円</p>	<p>そば粉については、基準の策定についてゼロ予算事業で検討することとしました。</p> <p>伝統野菜については原産地呼称制度ではなく、「信州伝統野菜認定事業」で行うこととしました。</p>
<p>⑨ 御嶽はくさいの地域内消費 10%アップ推進事業費</p> <p>【信州モデル創造枠予算】 【事業提案】</p> <p>園芸特産課 FAX 026-235-7483 E-mail entoku@pref.nagano.jp</p>	<p>87万5千円</p> <p>[0円]</p>	<p>全国的に有名な御嶽はくさいについて、地域住民の理解を深め、消費の拡大を図るとともに、生産者の応援団になっていただくよう取り組みます。</p>	<p>87万5千円</p>	<p>要求どおり</p>

事業名	予算額 [平成17年度予算額]	事業内容	要求額(12/21)	要求に対する査定経過
新用途繭推進事業補助金 【信州モデル創造枠予算】 園芸特産課 FAX 026-235-7483 E-mail entoku@pref.nagano.jp	152万8千円 [224万8千円]	歴史に培われた養蚕技術を生かしたブランド繭の生産振興や抗酸化作用、保湿機能に優れた繭タンパク質「セリシン」を利用した製品開発等を支援し、蚕糸業の復活と中山間地域の活性化を図ります。 事業主体 信州ブランド繭・蚕用途開発協議会 補助率 1/2	160万7千円	ブランド繭を用いた絹製品の開発経費を見直しました。
安全・安心こだわり畜産サポート事業費 畜産課 FAX 026-232-0764 E-mail chikusan@pref.nagano.jp	1565万2千円 [605万4千円]	こだわりをもった飼養管理・加工等を推進し、安全で安心な畜産物の生産・流通によるブランド化を支援します。	1487万6千円	牛肉の生産・流通における信頼性を向上させるため、DNA鑑定の検体数を増やしました。
⑨ 家畜にも人にも優しい信州コンフォート畜産支援事業費 【信州モデル創造枠予算】 【事業提案】 畜産課 FAX 026-232-0764 E-mail chikusan@pref.nagano.jp	29万6千円 [0円]	家畜のストレスを軽減し、抗菌性物質等の使用を最小限にすることにより、信州らしい良質な畜産物の安定生産を支援します。	99万7千円	事業内容を精査し、商談会の開催等に要する経費を縮減しました。

事業名	予算額 [平成17年度予算額]	事業内容	要求額(12/21)	要求に対する査定経過
野生鳥獣被害総合対策事業費 農村整備課 FAX 026-235-7484 E-mail nouson@pref.nagano.jp	2760万円 [3010万円]	集落における野生鳥獣害対策リーダーの育成と被害防止施設の整備により、野生鳥獣による農作物被害の防止を図ります。 事業主体 県、市町村等 補助率 1/2	3010万円	林務部と共有できる被害防止施設の設置に要する経費について精査しました。
中山間地域農業直接支払事業費 農村整備課 FAX 026-235-7484 E-mail nouson@pref.nagano.jp	19億4113万5千円 [18億9477万6千円]	中山間地域において、耕作放棄地の発生を防止し、農業・農村の持つ多面的機能を確保するため、集落の話し合いに基づく「将来に向けた積極的な農業生産活動」を支援します。 事業主体 市町村 負担割合 国1/2 県1/4 市町村1/4 ほか	19億4113万5千円	要求どおり
野菜等の経営を下支えする価格安定事業補助金 ・特産花き生産出荷安定資金造成事業 ・野菜価格安定対策事業 ・きのこ生産安定資金造成事業 園芸特産課 FAX 026-235-7483 E-mail entoku@pref.nagano.jp	10億9884万6千円 [5億6504万3千円]	農作物は気象条件による価格変動が大きく、計画的な生産出荷に取り組んでも価格が著しく低下する場合がありますため、生産者等と県、国が資金を造成し、市場販売価格が保証基準価格を下回った際に価格差補給金を交付し、生産者の経営安定と消費者への農作物の安定供給を図ります。	11億409万8千円	国の価格差補給交付金の額の確定に伴い県負担額が減少したことから、事業費を減額しました。

事業名	予算額 [平成17年度予算額]	事業内容	要求額(12/21)	要求に対する査定経過
自律志向担い手総合支援事業費 農村整備課 FAX 026-235-7484 E-mail nouson@pref.nagano.jp	6363万4千円 [1億214万9千円]	地域の営農を維持・発展する仕組みを一層推進し、望ましい農業構造の確立による農業・農村の安定的発展を図るため、認定農業者や集落営農組織等の効率的・安定的な農業経営体等の自律した担い手の育成・確保を進めるとともに、これら農業者への農地の利用集積を促進します。 集落営農アドバイザー設置事業 農業経営体育成支援事業 農業経営体農地集積対策事業 市町村公社等農地保全対策事業 担い手総合支援事業	1億98万円	実施内容をよりの確に表すため、事業名を変更しました。 農業経営体育成支援事業については、事業内容を精査しました。
人づくり・ものづくり・地域づくり支援事業費 (農業改良普及費) 農業技術課 FAX 026-235-8392 E-mail nougi@pref.nagano.jp	7263万8千円 [8328万6千円]	常時現場において直接農業者に接し、農業経営、技術等に関する普及活動を通じて、自主的に農業経営と農村生活の改善に取り組む農業者の育成を図ります。	7714万1千円	普及活動に係る旅費等の経費の節減を図ることとしました。
たくましい農業づくり支援事業交付金 農村整備課 FAX 026-235-7484 E-mail nouson@pref.nagano.jp	4386万2千円 [5億8529万6千円]	認定農業者等の効率的かつ安定的な経営体が、地域農業の生産の中心となる農業構造を実現するため、地域の合意形成に基づく農業生産施設の整備に対し助成します。	4820万4千円	市町村の推進事業については、事業内容を精査しました。

事業名	予算額 [平成17年度予算額]	事業内容	要求額(12/21)	要求に対する査定経過
新規就農里親支援事業費 【信州モデル創造枠予算】 農業技術課 FAX 026-235-8392 E-mail nougi@pref.nagano.jp	2543万5千円 [3278万2千円]	信州への就農を希望するIターン者等を積極的に支援する農業者を里親として登録し、里親の知識・経験・信用を最大限に生かした研修を実施して、円滑な新規就農者の確保を図ります。	3367万5千円	新規の研修生の受け入れ人数を実績を踏まえて見直すとともに、Uターン・農家子弟は、既存の研修や講座で対応するよう見直しました。
⑨ 農地・水・農村環境保全 向上活動支援実験事業費 土地改良課 FAX 026-233-4069 E-mail tochikai@pref.nagano.jp	1500万円 [0円]	平成19年度から国が導入予定の「地域ぐるみで農地・水等を守り、質を高める効果の高い共同活動を支援する施策」について、実効性を検証するためにモデル的な支援を実施します。 事業主体 市町村等 補助率 国1/2 県1/4	3000万円	施策の実効性を検証するために必要最小限のか所に見直しました。
“美しいまち・ふるさとの道” 再生モデル事業費 土地改良課 FAX 026-233-4069 E-mail tochikai@pref.nagano.jp	900万円 [810万円]	社会的共通資本である「まちなみ」や「道路」について、住民・市町村・県が一体となって再生を目指します。モデル地区を設定し、住宅部、土木部、農政部が連携して各種事業を推進します。 農政部所管内容 信州型木製ガードレールの整備 農政部モデル地区 八ヶ岳西麓地域、北信州地域	900万円	要求どおり

事業名	予算額 [平成17年度予算額]	事業内容	要求額(12/21)	要求に対する査定経過
<p>⑧ 信州農産物知財戦略事業費</p> <p>【信州モデル創造枠予算】</p> <p>農政課 FAX 026-235-7393 E-mail nousei@pref.nagano.jp</p>	<p>555万円</p> <p>[0円]</p>	<p>現在海外から苗木や果実の販売許諾要請のあるりんご「シナノゴールド」の海外許諾交渉を進めます。</p>	<p>968万円</p>	<p>研究会の設置は行わず、事前リサーチと契約締結までを一括委託することにより経費を見直しました。</p>
<p>信州農産物輸出支援事業費</p> <p>【信州モデル創造枠予算】</p> <p>農政課 FAX 026-235-7393 E-mail nousei@pref.nagano.jp</p>	<p>362万円</p> <p>[526万1千円]</p>	<p>信州産の農産物の海外市場展開を図るため、「信州ブランドを海外へ」推進実行委員会に参加しながら、相乗効果が期待できる物産や観光などとタイアップし、総合的なアピールを行います。 また、輸出販路開拓への支援を行います。</p> <p>事業主体 県、市町村</p> <p>補助率 1/2</p>	<p>1521万8千円</p>	<p>輸出セミナーと植物検疫研修会を既存の研修会と合わせて実施することとし、テスト輸出は品目の重点化を図り精査し、海外フェア開催は必要不可欠な設営経費と農産物輸送費に支援を集中することとしました。</p>
<p>⑧ すすめます「信州・農家の宿」支援事業費</p> <p>【信州モデル創造枠予算】</p> <p>農村整備課 FAX 026-235-7484 E-mail nouson@pref.nagano.jp</p>	<p>116万1千円</p> <p>[0円]</p>	<p>都市住民に信州の農山村の魅力を十分満喫していただき、満足感を享受できる「信州・農家の宿」を育成、ブランド化を図るため、農家民宿を支援する体制を整備します。</p>	<p>560万円</p>	<p>農家民宿に係る衛生設備の整備については、県の融資制度で対応することとしました。</p>

事業名	予算額 [平成17年度予算額]	事業内容	要求額(12/21)	要求に対する査定経過
<p>信州心のふるさと交流事業費</p> <p>農村整備課 FAX 026-235-7484 E-mail nouson@pref.nagano.jp</p>	<p>2701万2千円</p> <p>[7752万8千円]</p>	<p>都市農村交流を推進し、交流人口の増加により、高付加価値農業の振興、農業所得の増大、就業機会の創出、美しい農村景観の保全など、地域の活性化を図るための推進体制づくりや、交流拠点施設の整備に対し支援を行います。</p> <p>事業主体 県、市町村、農協、団体等 補助率 1/2</p>	<p>3905万円</p>	<p>市町村の推進体制づくりへの支援について事業内容を精査し、市町村の支援対象を見直しました。</p>
<p>きれいな諏訪湖復活事業費</p> <p>【信州モデル創造枠予算】</p> <p>農政課 FAX 026-235-7393 E-mail nousei@pref.nagano.jp</p>	<p>-</p> <p>[1026万円]</p>		<p>500万円</p>	<p>(要求の考え方) 諏訪湖流入河川の流域で、水田を活用した浄化実験を行うとともに、その浄化水田を活用した環境教育の促進に係る経費を要求しました。</p> <p>(査定結果) 地域の意識誘起が事業目的の中心であるため、信州農業再生戦略プロジェクト事業などの既存事業と効率的に連携しながらゼロ予算事業で実施することとしました。</p>
<p>⑨ 「食の里」づくりモデル地域支援事業費</p> <p>【信州モデル創造枠予算】 【事業提案】</p> <p>農政課 FAX 026-235-7393 E-mail nousei@pref.nagano.jp</p>	<p>-</p> <p>[0円]</p>		<p>75万5千円</p>	<p>(要求の考え方) 佐久地域の活性化モデルとなる「食の里」づくりを推進するために、食農体験活動支援に係る経費を要求しました。</p> <p>(査定結果) 地域住民の自主的な活動に、職員が支援することにより所期の目的は達せられることから、ゼロ予算事業で実施することとしました。</p>

事業名	予算額 [平成17年度予算額]	事業内容	要求額(12/21)	要求に対する査定経過
<p>⑧ 地域で挑戦する信州園芸支援 事業補助金</p> <p>【信州モデル創造枠予算】</p> <p>園芸特産課 FAX 026-235-7483 E-mail entoku@pref.nagano.jp</p>	-		4409万8千円	<p>(要求の考え方) 多様化する実需者ニーズに対応する生産流通構造の改革に必要な補助金を要求しました。</p> <p>(査定結果) 国庫交付金を有効活用しながら、青果物マーケットアドバイザーからの流通情報の提供やゼロ予算事業で加工等の業務需要との橋渡しを実施することとしました。</p>
<p>バスギル対策県民参加促進事業費</p> <p>【信州モデル創造枠予算】</p> <p>園芸特産課 FAX 026-235-7483 E-mail entoku@pref.nagano.jp</p>	-	-	15万円	<p>(要求の考え方) 外来魚問題に関して啓発するため、各地で勉強会を開催するための経費を要求しました。</p> <p>(査定結果) ゼロ予算事業で実施することとしました。</p>
<p>⑧ 信州農業トップ経営塾開設事業費</p> <p>【信州モデル創造枠予算】</p> <p>農業技術課 FAX 026-235-8392 E-mail nougi@pref.nagano.jp</p>	-	-	602万1千円	<p>(要求の考え方) 自律型農業経営者の育成を進めるための経費を要求しました。</p> <p>(査定結果) 師範となる人との橋渡しをゼロ予算事業で実施することとしました。</p>

事業名	予算額 [平成17年度予算額]	事業内容	要求額(12/21)	要求に対する査定経過
<p>⑨ 信州・感動快適トイレ実践事業費 【信州モデル創造枠予算】</p> <p>農村整備課 FAX 026-235-7484 E-mail nouson@pref.nagano.jp</p>	<p>-</p> <p>[0円]</p>		<p>1億2301万9千円</p>	<p>(要求の考え方) 「トイレの長野モデル指針」の早期実現に向けた経費を要求しました。</p> <p>(査定結果) トイレ改修については個別に必要性を判断して実施していくこととしました。</p>
<p>おらのむらづくり事業補助金 【信州モデル創造枠予算】</p> <p>農村整備課 FAX 026-235-7484 E-mail nouson@pref.nagano.jp</p>	<p>-</p> <p>[1000万円]</p>		<p>1000万円</p>	<p>(要求の考え方) 「農の営み」を基本とした集落住民総参加による、地域資源を活かした取り組み等を支援する経費を要求しました。</p> <p>(査定結果) 集落・住民総参加による自律・活性化への支援をより効果的に進めるため、コモンズ支援金や、農地・水・農村環境保全向上活動支援実験事業などで対応することとしました。</p>

事業名	予算額 [平成17年度予算額]	事業内容	要求額(12/21)	要求に対する査定経過
<p>信州の森林づくり事業補助金</p> <p>森林保全課 FAX 026-234-0330 E-mail shinrin@pref.nagano.jp</p>	<p>19億4687万8千円</p> <p>[14億8133万8千円]</p>	<p>「信州の森林づくりアクションプラン」に基づき、喫緊の課題である間伐を計画的に進めるため、公共及び県単の造林事業を新たな補助制度に再編し、これを活用して森林所有者等が行う森林整備のための経費に助成します。</p> <p>事業主体 森林所有者、森林組合、NPO法人等</p> <p>補助率 7/10以内</p>	22億2759万8千円	<p>「信州の森林づくりアクションプラン」に基づき実施する間伐について、平成18年度の計画量である1万7千ヘクタールを実施するに当たり、国の補正予算を活用し、事業費を平成17年度2月補正予算に計上することにより、一部事業費を見直しました。</p>
<p>公的森林整備事業補助金</p> <p>【信州モデル創造枠予算】</p> <p>森林保全課 FAX 026-234-0330 E-mail shinrin@pref.nagano.jp</p>	<p>1億2223万7千円</p> <p>[1億2223万7千円]</p>	<p>「長野県ふるさとの森林づくり条例」に基づき指定された森林整備保全重点地域や人々の生活に身近な里山林において、県と市町村が連携して所有者負担を伴うことなく間伐等の森林整備を実施するための経費に対して助成します。</p> <p>事業主体 市町村</p> <p>補助率 8.4/10以内</p>	1億2223万7千円	要求どおり
<p>流域管理森林(もり)と水特別対策事業費</p> <p>【信州モデル創造枠予算】</p> <p>森林保全課 FAX 026-234-0330 E-mail shinrin@pref.nagano.jp</p>	<p>2億1954万3千円</p> <p>[6億4668万円]</p>	<p>浅川、砥川、薄川などの重要流域の森林整備を着実に進めるために、県が事業主体となって造林事業及び治山事業を一体的・集中的に実施するなど、積極的に針広混交林の整備を進めます。</p> <p>(「信州の森林づくり事業補助金」で対応する重要流域の補助事業分 4億149万2千円を合わせ、予算額 6億2103万5千円)</p>	2億1954万3千円	要求どおり

事業名	予算額 [平成17年度予算額]	事業内容	要求額(12/21)	要求に対する査定経過
採石跡地のみどりづくり事業補助金 【信州モデル創造枠予算】 森林保全課 FAX 026-234-0330 E-mail shinrin@pref.nagano.jp	600万円 [730万円]	土石の採取が終了し造成された残壁は、放置すると防災面での懸念や景観を損ねることから、観光地や幹線道路周辺の採石場において、美しい信州の景観を取り戻すため、採石が終了した最終残壁における植栽工事に係る経費に対して助成します。 事業主体 採石事業者、市町村等 補助率 1/2	600万円	要求どおり
松林健全化推進事業費 森林保全課 FAX 026-234-0330 E-mail shinrin@pref.nagano.jp	2億586万7千円 [2億5239万1千円]	みどり豊かな森林を整備するため、守るべき松林における、被害木の伐倒処理や広葉樹林化・針広混交林化をめざした樹種転換等を推進します。	2億6313万2千円	三位一体改革により、松くい虫被害木駆除等に対する補助金が県及び市町村に税源移譲されたことから、市町村への補助金の補助率を3/4から6/10に変更しました。
高性能林業機械導入推進事業補助金 林業振興課 FAX 026-234-1550 E-mail ringyou@pref.nagano.jp	74万2千円 [7324万7千円]	高性能林業機械による間伐材の搬出作業などを行う高度な林業技術者の養成を図る研修に対し助成します。 事業主体 (財)長野県林業労働財団 補助率 10/10	574万3千円	建設機械を高性能林業機械に改造する経費に対する補助金を2台分要求しましたが、レンタル用の高性能林業機械が充実してきたことから、事業内容を高性能林業機械オペレーターの研修のみにしました。

事業名	予算額 [平成17年度予算額]	事業内容	要求額(12/21)	要求に対する査定経過
森林整備に直結する路網整備 事業補助金 林業振興課 FAX 026-234-1550 E-mail ringyou@pref.nagano.jp	8118万9千円 [1億850万円]	森林整備及び間伐材の搬出を促進するため、幹線 的な林道を生かし、毛細血管としての簡易な作業道 の整備に対し助成します。 事業主体 市町村、森林組合等 補助率 1/2	8118万9千円	要求どおり
野生鳥獣総合管理対策事業費 [一部信州モデル創造枠予算] 森林保全課 FAX 026-234-0330 E-mail shinrin@pref.nagano.jp	8553万5千円 [8727万円]	人と野生鳥獣との緊張感のある共存関係の構築を 目指し、捕獲対策、防除対策、集落対策、生息環境 整備対策を総合的に支援するとともに、新たに電波 発信機を利用したサルによる被害の未然防止策を検 討します。	1億989万円	ニホンジカの広域駆除班の編成及 びサルの緊急パトロールチームの活 動に対する補助金を要求しまし た。が、出動手当的な経費につ いては、地域で対応していただ くよう見直しました。 野生鳥獣の総合防除対策に対 する補助金については、新た に取り組む1か所に見直しまし た。
(新) 信州ジビエ振興対策アクション 事業費 [信州モデル創造枠予算] 森林保全課 FAX 026-234-0330 E-mail shinrin@pref.nagano.jp	543万5千円 [0円]	ジビエ(野生鳥獣の肉)を鳥獣被害に悩む地域の 新たな山村資源とするため、信州ジビエ供給に向け た衛生管理体制の確立と基準づくりを進めるととも に、冷凍保管施設の整備に対して支援します。	2529万円	ジビエの安心・安全な供給体制を 確立するためには、衛生管理体制の 確立が必要であることから、捕獲から 販売に至る取り扱いの基準づくり及 び野生鳥獣の疾病等保有状況調査 等へ事業内容を見直しました。

事業名	予算額 [平成17年度予算額]	事業内容	要求額(12/21)	要求に対する査定経過
<p>県営総合射撃場鉛回収総合対策事業費</p> <p>森林保全課 FAX 026-234-0330 E-mail shinrin@pref.nagano.jp</p>	<p>4000万円</p> <p>[4000万円]</p>	<p>県営総合射撃場内の鉛について、平成15年度に実施した土壌調査の結果に基づき、鉛を含んだ土壌の回収を行うとともに、鉛を除去し、透水性シートの敷設により、県民の健康を守ります。</p>	<p>6700万円</p>	<p>土壌回収工事等にかかる工事費を要求しましたが、工事規模を前年度と同程度の事業量に見直しました。</p>
<p>⑨ 林業大学校改革推進事業費</p> <p>【信州モデル創造枠予算】</p> <p>林業振興課 FAX 026-234-1550 E-mail ringyou@pref.nagano.jp</p>	<p>109万円</p> <p>[0円]</p>	<p>森林資源の変化に対応し、意欲と能力にあふれ、現場で即戦力となる林業人の養成を目指して林業大学校を充実・強化します。 このため、現場における実技実習を強化し、多様な人材を輩出するため、コース制を導入します(平成19年度から)。 平成18年度は、高性能林業機械を借り上げ、林業事業体のプロの技術者等から実技指導を受けます。</p>	<p>186万8千円</p>	<p>実習に使用する高性能林業機械のレンタル料等について、機械を(財)長野県林業労働財団から無料で借り上げることとしました。</p>
<p>GIS信州型森林地理情報システム構築事業費</p> <p>【信州モデル創造枠予算】</p> <p>林政課 FAX 026-233-4032 E-mail rinsei@pref.nagano.jp</p>	<p>4602万円</p> <p>[672万円]</p>	<p>森林に関する情報を、地理情報システム(GIS)を活用し電子データ化することで、情報精度の向上と利便性を図ります。また、関連情報を一元管理、蓄積、分析することで、社会的共通基盤である森林資源の有効活用を図ります。</p>	<p>9996万円</p>	<p>GISの整備を平成19年度までの2か年で計画し要求しましたが、計画を平成20年度までの3か年に変更するとともに、データ整備の一部を職員が実施するよう見直しました。</p>

事業名	予算額 [平成17年度予算額]	事業内容	要求額(12/21)	要求に対する査定経過
<p>⑨ 県産針葉樹合板開発事業補助金 【信州モデル創造枠予算】</p> <p>信州の木利用推進課 FAX 026-234-1550 E-mail wood-use@pref.nagano.jp</p>	<p>185万円</p> <p>[0円]</p>	<p>県産針葉樹合板の需要拡大を図り、市場競争力を高めるため、県産針葉樹による合板の製造、流通を支援するとともに、針葉樹合板の新製品開発に助成します。</p> <p>事業主体 木材関連業者等の組織する団体</p> <p>補助率 1/2</p>	<p>285万円</p>	<p>松くい虫被害材やスギ根曲り材の合板の試作のための経費を要求しましたが、試作量を見直し経費を節減することとしました。</p>
<p>木の香る環境づくり総合推進事業費 【一部信州モデル創造枠予算】</p> <p>信州の木利用推進課 FAX 026-234-1550 E-mail wood-use@pref.nagano.jp</p>	<p>1億6856万4千円</p> <p>[1億6411万5千円]</p>	<p>小・中学校、自律学校、幼稚園・保育所、福祉施設等に信州の木をふんだんに取り入れることにより、温もりのある教育・生活環境を創り出すとともに、県民の皆さんに信州の木への理解を深めていただき、利用を促進します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県産材製学校用机・椅子等の導入 ・学校・幼稚園等の木造・木質化 ・地域の木材を活用した環境教育の推進 ・展示効果やシンボル性の高い木造公共施設の整備 	<p>1億9207万5千円</p>	<p>県立自律学校への県産材机・椅子の導入について、計画を平成17年度に前倒して実施したため、平成18年度の事業量を縮減しました。</p> <p>木造公共施設の整備について、事業取り下げがあったため、整備箇所を1か所縮減しました。</p>
<p>⑨ 県産材販路開拓支援事業補助金 【信州モデル創造枠予算】</p> <p>信州の木利用推進課 FAX 026-234-1550 E-mail wood-use@pref.nagano.jp</p>	<p>80万円</p> <p>[0円]</p>	<p>県内メーカーに代わり首都圏など大消費地において、マーケットニーズの把握と県産材の販路の開拓を行うために、県産材販路開拓員の営業活動に要する経費に対して助成します。</p> <p>事業主体 県産材販路開拓協議会</p> <p>補助率 1/2</p>	<p>125万円</p>	<p>県産材販路開拓員の営業活動に要する経費について、一日あたりの上限額を設定することで見直しました。</p>

事業名	予算額 [平成17年度予算額]	事業内容	要求額(12/21)	要求に対する査定経過
<p>⑨ ウッドチップ利活用推進事業費</p> <p>【信州モデル創造枠予算】</p> <p>林業振興課 FAX 026-234-1550 E-mail ringyou@pref.nagano.jp</p>	<p>928万1千円</p> <p>[0円]</p>	<p>間伐材の有効利用を促進するため、移動式チップパー等を活用し、公共工事、県管理施設、県有地等をフィールドとして、ウッドチップの新たな工法の実演研修や、チップ利活用事例の展示を行います。</p>	<p>2573万6千円</p>	<p>間伐材及びウッドチップの利活用に向け、意欲ある民間企業の技術提案を受け入れるなど、民間活力を積極的に導入することにより、県直営分の事業量を見直しました。</p>
<p>森のエネルギー推進事業費</p> <p>【信州モデル創造枠予算】</p> <p>信州の木利用推進課 FAX 026-234-1550 E-mail wood-use@pref.nagano.jp</p>	<p>5104万円</p> <p>[1000万円]</p>	<p>脱温暖化・循環型社会を構築するため、新たに県立高等学校等の県有施設へペレットストーブ・ボイラーを導入するとともに、民間施設が導入する経費に対して助成し、森林資源の有効活用と新たな産業の創出による地域の活性化を図ります。</p>	<p>1億4287万7千円</p>	<p>より効果的なペレットストーブ・ボイラーの普及を図るため、高等学校や県施設への導入とともに、個人がペレットストーブを導入する経費に助成し、市町村でも積極的に導入に取り組んでいただくよう事業内容を見直しました。</p>
<p>森(しん)世紀ブランド流通促進事業費</p> <p>【信州モデル創造枠予算】</p> <p>信州の木利用推進課 FAX 026-234-1550 E-mail wood-use@pref.nagano.jp</p>	<p>300万円</p> <p>[400万円]</p>	<p>信州カラマツなど県産材を活用した製品(家具・内装材等)や信州型自律学校用机椅子などの森世紀ブランド製品の流通促進を図るため、大消費地等において、PR活動を実施します。</p>	<p>700万円</p>	<p>団体が行う展示会等に対する補助金を要求しましたが、森世紀ブランドフェアや住宅説明会等の中で一体的に実施することとしました。</p>

事業名	予算額 [平成17年度予算額]	事業内容	要求額(12/21)	要求に対する査定経過
エコメディカル&ヒーリングピ レージ事業補助金 森林保全課 FAX 026-234-0330 E-mail shinrin@pref.nagano.jp	146万9千円 [415万円]	森林が持つヒーリング(癒し)効果を活用し、農業、 観光、地域医療等を有機的に結びつけ、都会の疲 れたビジネスマンなどの癒しの場として活用するこ とで、都市農山村交流を進め、山村地域の活性化を 図ります。 事業主体 市町村 補助率 1/2以内	240万円	対象となる事業費を縮減するととも に、事業か所を継続分3か所に見直 しました。
⑨ 信州「森の小径」整備事業補助 金 森林保全課 FAX 026-234-0330 E-mail shinrin@pref.nagano.jp	1415万円 [0円]	森林を健康づくりに役立てるとともにリフレッシュ感 を味わってもらうため、里山周辺における遊歩道の 整備やウッドチップ舗装、標識等の設置に要する経 費に助成します。 事業主体 市町村 補助率 5/10以内又は 4/10以内	4555万円	計画内容及び計画の熟度を精査 し、事業費を見直しました。
元気な学校林プロジェクト推進 事業補助金 林業振興課 FAX 026-234-1550 E-mail ringyou@pref.nagano.jp	[400万円]		400万円	(要求の考え方) 学校林の手入れや資機材の整備、 地域の学習支援者の活用など、森 林教育の実施を支援し、学校林を核 とした生涯学習の森づくりを推進す る経費を要求しました。 (査定結果) 市町村及び地域が主体となり、県 はゼロ予算事業で支援することしま した。

事業名	予算額 [平成17年度予算額]	事業内容	要求額(12/21)	要求に対する査定経過
森林(もり)の里親促進事業費 【信州モデル創造枠予算】 林業振興課 FAX 026-234-1550 E-mail ringyou@pref.nagano.jp	[300万円]		300万円	(要求の考え方) 企業の理解と支援を得て行う新たな森林づくりの仕組みを全国の企業に発信し、企業と連携した森林整備を進めることを目的に、普及啓発と企業の参加促進のためのシンポジウムに要する経費を要求しました。 (査定結果) 企業への営業活動に重点を置いてゼロ予算事業で取り組むこととしました。
⑨ 信州の木づくりの家支援事業補助金 信州の木利用推進課 FAX 026-234-1550 E-mail wood-use@pref.nagano.jp	[0円]		600万円	(要求の考え方) 県民の皆さんに県産材に対する理解を深めていただくため、「信州木づくりの家」認定グループが行う県産材の普及啓発に対する補助金を要求しました。 (査定結果) 県産材住宅説明会の事業で対応することとしました。
「森の学校」モデル事業補助金 林業振興課 FAX 026-234-1550 E-mail ringyou@pref.nagano.jp	[200万円]		200万円	(要求の考え方) 信州の豊かな森林を活用した体験学習サービスの提供等を行う新たな自然学校の実施を支援するための補助金を要求しました。 (査定結果) 平成15年度から育成してきた指導者を中心に、県がゼロ予算事業で支援することとしました。

事業名	予算額 [平成17年度予算額]	事業内容	要求額(12/21)	要求に対する査定経過
<p>今ある資産を活かす時代の 維持管理事業費</p> <p>道路維持課 FAX 026-235-7369 E-mail douroiji@pref.nagano.jp</p>	<p>100億476万円</p> <p>(公共・県単事業費再掲)</p> <p>[97億9834万2千円]</p>	<p>道路構造物の老朽化が進む中で、アセットマネジメント(定期的な維持管理による道路施設の延命化)の導入により、できる限り資産の有効活用を図るため、道路・橋梁等の点検・補修を重点的に行います。</p> <p>・道路照明、トンネル防災設備等の保守 ・道路のパトロール、修繕工事 ・橋梁の自主点検パトロール、効率的維持管理ほか</p>	<p>104億1859万円</p> <p>(公共・県単事業費再掲)</p>	<p>道路の維持管理を重点的に実施するための事業費を要求しましたが、厳しい財政状況の中で、緊急性や優先性等を再精査し、事業費を縮減しました。</p>
<p>アダプトシステム支援事業費 (信州ふるさとの道ふれあい事業)</p> <p>道路維持課 FAX 026-235-7369 E-mail douroiji@pref.nagano.jp</p>	<p>2546万円</p> <p>(県単事業費再掲)</p> <p>[1668万円]</p>	<p>県が管理する道路において、県と協定を締結した里親(地域住民団体、企業、学校等)がボランティアで行う道路の美化活動等を支援します。</p> <p>・歩道、待避所、草刈、枝払い、歩道除雪等に 必要な用具貸与 ・花壇等の維持管理に必要な花苗等支給 ・アダプトサイン(表示看板)の設置</p>	<p>2546万円</p> <p>(県単事業費再掲)</p>	<p>要求どおり</p>
<p>新 市町村と連携する「コモンズ維持管理」事業費</p> <p>道路維持課 FAX 026-235-7369 E-mail douroiji@pref.nagano.jp</p>	<p>1億3000万円</p> <p>(県単事業費再掲)</p> <p>[0円]</p>	<p>市町村と連携し一体となって道路の維持管理を行うことにより、除雪や維持補修に速やかに対応します。</p> <p>・除雪 県道との連携を希望する市町村に除雪を委託 ・維持補修 モデル地区において県道の維持補修を市町村に委託</p>	<p>1億3000万円</p> <p>(県単事業費再掲)</p>	<p>要求どおり</p>

事業名	予算額 [平成17年度予算額]	事業内容	要求額(12/21)	要求に対する査定経過
<p>信州の木でつくる信州みちづくり事業費</p> <p>【信州モデル創造枠予算】</p> <p>道路維持課 FAX 026-235-7369 E-mail douroiji@pref.nagano.jp</p>	<p>2億円</p> <p>(一部公共・県単事業費再掲)</p> <p>[1億円]</p>	<p>県産間伐材の有効活用や良好な景観形成を図るため、県が管理する道路において、「信州型木製ガードレール」や公募採用による木製道路用製品を積極的に活用します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・信州型木製ガードレール 1億5000万円 軽井沢、霧ヶ峰、飯綱高原ほか延長4.5km ・木製道路用製品 5000万円 歩道用ガードパイプ、甲蓋、標識など 	2億円	<p>事業費全額を信州モデル創造枠予算で要求しましたが、一部を公共・県単事業予算で実施することとしました。</p>
<p>“美しいまち・ふるさとの道”再生モデル事業費</p> <p>【信州モデル創造枠予算】</p> <p>道路維持課 FAX 026-235-7369 E-mail douroiji@pref.nagano.jp</p>	<p>5000万円</p> <p>[5000万円]</p>	<p>信州の景観を守り、育んでいくため、モデル地区(軽井沢、安曇野、八ヶ岳西麓、北信州)を設定し、住民参加による美しい道づくり、まちづくり等を総合的に推進します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フラワーロード事業 ・信州型木製ガードレール設置事業 ・歩行者主役型道路リメイク事業 ・誰でもわかる案内標識整備事業 	5000万円	<p>要求どおり</p>
<p>⑨ 栄村 極野(にての)～五宝木道路整備事業費</p> <p>道路建設課 FAX 026-235-7391 E-mail douroken@pref.nagano.jp</p>	<p>1億2000万円</p> <p>(県単事業費再掲)</p> <p>[0円]</p>	<p>栄村の秋山地区・五宝木地区の冬期間孤立化を防ぐため、道路整備の調査・設計を行うとともに、工事に着手します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調査：概略設計、地形図作成、地質調査、詳細設計 など ・工事：道路拡幅、雪崩対策 など 	<p>(当初要求)</p> <p>0円</p> <p>(追加要求)</p> <p>1億2000万円 (県単事業費再掲)</p>	<p>-</p> <p>平成17年12月からの豪雪により国道405号が通行止めとなり、秋山地区と村中心部を結ぶ通常通行が可能なルートを早期に整備する必要があるため、追加要求しました。</p>

事業名	予算額 [平成17年度予算額]	事業内容	要求額(12/21)	要求に対する査定経過
緊急サポート道路機能アップ事業費 道路建設課 FAX 026-235-7391 E-mail douroken@pref.nagano.jp	1億2500万円 (県単事業費再掲) [1億1000万円]	生活圏を結ぶ道路等について、交通の障害となっている突角か所の改良や待避所の設置等を行うことにより、災害時等緊急時の代替道路の機能アップを図り通行を確保します。 ・実施箇所 (主)伊那生田飯田線 (主)大町麻績インター千曲線 ほか	1億2500万円 (県単事業費再掲)	要求どおり
ローカルルールによる道路整備事業費 道路建設課 FAX 026-235-7391 E-mail douroken@pref.nagano.jp	9億円 (県単事業費再掲) [2億5000万円]	地域の実情に応じて、効果的・効率的に道路を整備するため、ローカルルールによる「1.5車線道路」の整備を推進します。	9億円 (県単事業費再掲)	要求どおり
沿道やすらぎ環境改善事業費 【信州モデル創造枠予算】 道路計画室 FAX 026-235-7391 E-mail roadplan@pref.nagano.jp	500万円 [500万円]	有料道路4路線(白馬長野・志賀中野・松本トンネル・五輪大橋)について、料金値下げの社会実験を引き続き行うことにより、有料道路への交通転換と周辺一般道路沿線の環境改善を図ります。 ・昼間全車種100円、夜間全車種無料化 (白馬長野は夜間のみ) ・白馬長野有料道路の夜間無料化に伴う道路公社の減収額の補填	3476万3千円	限られた予算の中で、引き続き有料道路料金値下げの社会実験を行っていく必要があるため、道路公社減収額のうち一部を補填することとして、平成17年度と同額としました。

事業名	予算額 [平成17年度予算額]	事業内容	要求額(12/21)	要求に対する査定経過
諮問河川の治水対策促進事業費 【信州モデル創造枠予算】 河川課 FAX 026-225-7069 E-mail kasenka@pref.nagano.jp	8億5500万円 (一部公共・県単事業費再掲) [10億円]	長野県治水・利水ダム等検討委員会に諮問した9河川について、ダムによらない新たな治水計画を策定し事業を促進します。 ・河川改修の促進：浅川、砥川 ・事業化に向けた準備：上川、薄川、黒沢川	8億5500万円 (一部公共事業費再掲)	国庫補助事業を除く全額を信州モデル創造枠予算で要求しましたが、一部を県単事業予算で実施することとしました。
内水対策事業費 河川課 FAX 026-225-7069 E-mail kasenka@pref.nagano.jp	1366万1千円 (県単事業費再掲) [1029万円]	千曲川、天竜川等の支川合流部付近における内水氾濫に対して、河川や流域の特性に応じた実現性の高い内水被害軽減対策を講ずるため、調査・検討及び対策工事を実施します。 ・実施箇所 田川(松本市)、今井川(飯山市)	1366万1千円	信州モデル創造枠予算で要求しましたが、県単事業予算で実施することとしました。
洪水ハザードマップ作成支援事業費 【信州モデル創造枠予算】 河川課 FAX 026-225-7069 E-mail kasenka@pref.nagano.jp	525万円 [3675万円]	河川の氾濫を想定した避難路・避難場所等防災上必要な情報をわかりやすく提供するため、市町村の洪水ハザードマップ作成に対して支援を行います。	8400万円	市町村の洪水ハザードマップ作成を支援するため、16河川を対象として要求しましたが、国庫補助による作成と一体的に整備していく方針としたため、1河川を対象としました。

事業名	予算額 [平成17年度予算額]	事業内容	要求額(12/21)	要求に対する査定経過
<p>既存施設を活用した効果的な維持管理事業費</p> <p>河川課 FAX 026-225-7069 E-mail kasenka@pref.nagano.jp</p>	<p>4億6694万9千円</p> <p>(県単事業費再掲)</p> <p>[4億824万6千円]</p>	<p>河川の適正な維持管理水準を確保するため、河川モニター等の協力により堤防・護岸等の点検を効果的に行い、河川施設の補修や河川内堆積土の除去を重点的に実施します。</p>	<p>4億8798万6千円</p> <p>(県単事業費再掲)</p>	<p>河川の維持管理を重点的に実施するための事業費を要求しましたが、厳しい財政状況の中で、緊急性や優先性等を再精査し、事業費を縮減しました。</p>
<p>河川愛護・アダプトプログラム事業費</p> <p>河川課 FAX 026-225-7069 E-mail kasenka@pref.nagano.jp</p>	<p>680万円</p> <p>(一部県単事業費再掲)</p> <p>[49万6千円]</p>	<p>美しい信州の河川空間と環境の保全を図るため、河川愛護団体など住民ボランティアの参加による河川の美化活動等を支援します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住民参加による河川清掃、外来植物除去(アレチウリ等)の支援 ・清掃用具の貸与・支給 	<p>680万円</p> <p>(一部県単事業費再掲)</p>	<p>要求どおり</p>
<p>総合土砂災害対策推進事業費 (土砂災害基礎調査)</p> <p>【信州モデル創造枠予算】</p> <p>砂防課 FAX 026-233-4029 E-mail sabouka@pref.nagano.jp</p>	<p>1億円</p> <p>[3億円]</p>	<p>土砂災害から県民の生命を守るため、土砂災害防止法に基づく基礎調査を実施し、土砂災害のおそれがある区域等を明らかにするとともに、市町村が行う警戒避難体制の整備を支援します。</p>	<p>3億6000万円</p>	<p>土砂災害に対する警戒避難体制の整備等を推進していく上で、警戒区域等の指定を重点的に実施することとし、基礎調査については実施箇所を絞り込み、事業費を縮減しました。</p>

事業名	予算額 [平成17年度予算額]	事業内容	要求額(12/21)	要求に対する査定経過
<p>新たな都市マネジメント事業費</p> <p>【信州モデル創造枠予算】</p> <p>都市計画課 FAX 026-252-7315 E-mail toshikei@pref.nagano.jp</p>	<p>384万2千円</p> <p>[80万円]</p>	<p>生活圏の広域化や市町村合併に対応する新たな都市づくりの仕組みを構築します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都市計画区域の見直し ・線引き制度のあり方の検討 ・「まちづくりリレーミーティング」による地域住民との意見交換 	412万8千円	<p>研修会の会場使用料や資料代等の経費を節減しました。</p>
<p>⑨</p> <p>都市(まち)づくり地域活動支援事業費</p> <p>【信州モデル創造枠予算】</p> <p>都市計画課 FAX 026-252-7315 E-mail toshikei@pref.nagano.jp</p>	<p>38万円</p> <p>[0円]</p>	<p>住民と行政の協働による都市(まち)づくり、街並みづくりを実現するため、地域・地区のリーダーとなる人材の育成を行うなど、地域住民主体のまちづくり活動を支援します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講座・ワークショップの開催 ・まちづくり専門家の派遣 ・地域リーダーへのまちづくり情報提供 	38万円	<p>要求どおり</p>
<p>市民がつくる「森の公園」事業費</p> <p>【信州モデル創造枠予算】</p> <p>都市計画課 FAX 026-252-7315 E-mail toshikei@pref.nagano.jp</p>	<p>461万円</p> <p>[500万円]</p>	<p>地域が支える都市公園の創造や豊かな自然環境の保全を図るため、市民との協働により烏川溪谷緑地の整備、維持、管理、活用を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合学習の支援、学習会の開催 ・市民会議、地域住民による維持管理 ・障害者自律活動の支援(作業委託) 	500万円	<p>公園の維持管理に関する経費を見直しました。</p>

事業名	予算額 [平成17年度予算額]	事業内容	要求額(12/21)	要求に対する査定経過
建設産業構造改革支援事業費 [信州モデル創造枠予算] 監理課・技術管理室 FAX 026-235-7482 E-mail kanri@pref.nagano.jp gijukan@pref.nagano.jp	7951万9千円 [8963万円]	建設産業構造改革支援プログラムに基づき、意欲と熱意ある建設企業による経営基盤強化や経営多角化などの取り組みに対して支援を行います。 ・建設産業支援コーディネータ設置事業 ・建設業等新分野事業進出費補助事業 ・建設産業グローイングアップ支援事業 ほか	9658万円	関連する他の事業との連携強化と相乗効果を重視しつつ効率的に実施するため、個々の事業内容や必要経費を見直しました。
(新) GISを活用した通行規制情報の提供事業費 道路維持課 FAX 026-235-7369 E-mail douroiji@pref.nagano.jp	-	-	1000万円 (県単事業費再掲)	(要求の考え方) 地図情報を活用し通行規制等の道路情報を迅速・正確に提供するシステム構築に要する経費を要求しました。 (査定結果) 国が開発しているシステムとの連携や効率的な運用方法などの検討を進めることとしました。
(新) 「全国みどりの愛護のつどい」負担金 都市計画課 FAX 026-252-7315 E-mail toshikei@pref.nagano.jp	-	-	2700万円	(要求の考え方) 平成19年度に国営アルプスあづみの公園で開催する「第18回全国みどりの愛護のつどい」の運営経費負担金を要求しました。 (査定結果) 今後具体的な開催計画を構築し運営経費がより明確になった段階で、補正予算で対応することとしました。

事業名	予算額 [平成17年度予算額]	事業内容	要求額(12/21)	要求に対する査定経過
<p>信州木づくりの家整備推進事業費 【信州モデル創造枠予算】</p> <p>建築管理課 FAX 026-235-7479 E-mail kenchiku@pref.nagano.jp</p>	<p>400万円</p> <p>[800万円]</p>	<p>循環型社会の形成に向けて、県産材を使用し、環境や健康に配慮した質の高い県産材活用住宅の整備を推進するため、先進的な研究・開発に取り組む地域住宅産業グループに対して財政支援を行います。</p> <p>平成17年度認定分：4グループ</p>	400万円	要求どおり
<p>信州ふるさとの住まいづくり支援事業費 【信州モデル創造枠予算】</p> <p>建築管理課 FAX 026-235-7479 E-mail kenchiku@pref.nagano.jp</p>	<p>6781万5千円</p> <p>[2875万円]</p>	<p>県民の居住水準の向上と住宅産業の振興を図るとともに、県産材の利用促進により森林整備に資することを目的として、一定の県産材を活用した良質な木造住宅の新築等を行う者に対し助成します。</p> <p>新築・購入：50万円 リフォーム：25万円</p>	8431万5千円	<p>県産材使用率が50%以上の住宅を補助対象とすることとし、県産材使用率30%以上の住宅と内外装利用のメニュー創設は見送り、住宅への県産材活用促進に向けたより効果的な施策について、関係部局と連携して検討していくこととしました。</p>
<p>市街地再開発事業費</p> <p>建築管理課 FAX 026-235-7479 E-mail kenchiku@pref.nagano.jp</p>	<p>1億7211万円</p> <p>[4億2462万円]</p>	<p>市街地の土地利用の高度化と都市機能の更新や防災性の向上を図るため、公共団体・組合等が行う再開発事業等の公益的な部分について助成します。</p> <p>市街地再開発事業 長野銀座A-1地区、橋南第二地区 優良建築物等整備事業 堀端地区</p>	1億7211万円	要求どおり

事業名	予算額 [平成17年度予算額]	事業内容	要求額(12/21)	要求に対する査定経過
すまいの安全「とうかい」防止 対策事業費 【一部信州モデル創造枠予算】 建築管理課 FAX 026-235-7479 E-mail kenchiku@pref.nagano.jp	1億2210万4千円 [6326万9千円]	震災時の膨大な災害復興費用の軽減を図るため、住宅や避難施設となる建物の耐震診断、耐震補強を進めるとともに、地震被害軽減対策として、地震防災対策強化地域内の市町村が行う地域住民への家具転倒防止器具の給付に対して支援します。	1億4414万1千円	平成17年度の計画に対する実績見込み等を考慮し、事業費を精査しました。
⑨ アスベスト飛散防止対策事業費 建築管理課 FAX 026-235-7479 E-mail kenchiku@pref.nagano.jp	821万1千円 [0円]	飛散性の高い吹付けアスベストの、大気環境中への粉じんの排出及び飛散を防止するため、多数の者が利用する民間の建築物の所有者が行う、アスベストの除去費用に対して助成します。 ・アスベスト除去対策事業 補助率 1/6 (国の補助 1/3)	(当初要求) 0円 (追加要求) 2512万5千円	- 国において吹付けアスベストの除去に対する助成制度が平成18年度事業として創設され、県でも早急に取り組む必要があるため、新たに追加要求しました。 要望のあった13施設のうち工法等について調整がついた8施設を実施することとしました。また、吹付けアスベスト除去時の立会い、吹付けアスベスト建築物の定期点検等の業務を行う、アスベスト建築技術相談員については、県職員で対応することとしました。

事業名	予算額 [平成17年度予算額]	事業内容	要求額(12/21)	要求に対する査定経過
土地利用総合調整事業費 建築管理課土地・景観室 FAX 026-235-7479 E-mail tochi-keikan@pref.nagano.jp	52万1千円 [71万6千円]	住民、市町村等の意見を反映した土地利用の実現を図るため、事業に先立つ手続として住民参加、専門家の助言、関係機関の連携等の要素を取り入れた制度を拡充します。	71万6千円	平成17年度の実績等を考慮し、専門家への謝金等事業経費を節減しました。
⑨ 景観育成特定地区指定事業費 建築管理課土地・景観室 FAX 026-235-7479 E-mail tochi-keikan@pref.nagano.jp	275万9千円 [0円]	県景観計画に基づき地域の自律的な景観育成を支援するため、景観育成特定地区の指定を行い、地域ごとのきめ細やかな基準による制度運用を進めます。	292万7千円	特定地区指定予定地の住民の皆様とのワークショップや懇談会の資料代を節減しました。
⑨ 景観育成支援事業費 建築管理課土地・景観室 FAX 026-235-7479 E-mail tochi-keikan@pref.nagano.jp	400万5千円 [0円]	地域における自律的な景観育成を推進するため、景観育成活動の中心的な役割を担うリーダー的人財(景観ヴァンガード)を育成します。 また、景観育成特定地区等における景観育成活動や、市町村における景観行政の推進に対して助言・指導を行う専門家(景観デザイナー)を登録し派遣するとともに、情報提供等による住民活動への支援を行い、地域における景観育成の推進を図ります。	510万1千円	研修会の資料代等の経費及びデザインマニュアルの作成経費を節減しました。

事業名	予算額 [平成17年度予算額]	事業内容	要求額(12/21)	要求に対する査定経過
<p>⑨ 地域景観育成事業費</p> <p>建築管理課土地・景観室 FAX 026-235-7479 E-mail tochi-keikan@pref.nagano.jp</p>	662万7千円 [0円]	<p>地域に根ざした景観育成を推進するため、各地域に地域景観協議会を設置し、景観行政団体間での連携及び地域において必要な景観育成への取組等について協議を行います。</p> <p>また、協議に基づき地域の実情に即した事業を行う主体として、景観育成委員会を組織し、自律的な住民活動への助成など景観育成への取組を支援します。</p>	821万8千円	<p>地域景観協議会の開催経費及びパンフレットの印刷代・消耗品代等を節減しました。</p>
<p>“美しいまち・ふるさとの道” 再生モデル事業費</p> <p>【信州モデル創造枠予算】</p> <p>建築管理課土地・景観室 FAX 026-235-7479 E-mail tochi-keikan@pref.nagano.jp</p>	7396万9千円 [5337万1千円]	<p>信州の美しい沿道・田園等の景観を維持・管理するため、モデル地域を指定し、地域に即した屋外広告物の整備、誘導、規制に係る市町村、広域連合等が行う事業を支援します。</p> <p>・モデル地域 軽井沢町、八ヶ岳西麓地域 安曇野地域、北信州地域 ・補助率：2/3以内</p>	1億410万6千円	<p>公共サインの設置について平成17年度の入札実績により設置単価を見直すとともに、設置数について事業調整により縮減しました。</p>
<p>公共サイン多国語標記事業費</p> <p>【信州モデル創造枠予算】</p> <p>建築管理課土地・景観室 FAX 026-235-7479 E-mail tochi-keikan@pref.nagano.jp</p>	472万1千円 [0円]	<p>海外からのお客様を温かくお迎えするため、統一的な指針に基づいた英語、中国語(簡体字)・台湾語(繁体字)、韓国語、ポルトガル語、日本語の6カ国語による案内表示板を県内主要交通拠点等に整備します。</p>	1406万2千円	<p>県実施分については、サイン設置箇所を精査し、外国人の利用が多い交通拠点、著名観光地に限定しました。</p> <p>市町村に対する補助については、コモンズ支援金により対応することとしました。</p>

事業名	予算額 [平成17年度予算額]	事業内容	要求額(12/21)	要求に対する査定経過
<p>⑨ 中央・南アルプスを望む沿道 景観育成事業費 [信州モデル創造枠予算] [事業提案]</p> <p>建築管理課土地・景観室 FAX 026-235-7479 E-mail tochi-keikan@pref.nagano.jp</p>	<p>100万円</p> <p>[0円]</p>	<p>平成18年2月に開通した国道361号(伊那木曾連絡道路)の沿道景観を保全するため、屋外広告物禁止地域内の既存不適格広告物の撤去費用に対し助成します。</p> <p>・事業主体: 広告物所有者 ・補助率: 1/3</p>	<p>150万円</p>	<p>既存広告物の撤去費用を補助対象とすることとし、民間事業者の看板新設に対する補助は行わないこととしました。</p>
<p>県営住宅建設事業費</p> <p>住宅課 FAX 026-235-7486 E-mail jutaku@pref.nagano.jp</p>	<p>8億469万7千円</p> <p>[9億2135万3千円]</p>	<p>狭小・老朽化した県営住宅を建替えることにより、「うるおいとやすらぎのある」魅力的な居住環境を提供します。</p> <p>・建替着工: 小井川団地24戸 ・継続分: 別所団地18戸、高瀬団地24戸 ・設計プロポーザル、基本・実施設計: 君石団地</p>	<p>9億239万1千円</p>	<p>建替設計団地2箇所のうち1箇所(南松本団地)を先送りし、事業費を縮減しました。 平成18年度から平成19年度の2年間で建替する小井川団地については、年度間の支出割合を見直し、平成18年度の支出額を縮減しました。</p>
<p>県営住宅改善事業費</p> <p>住宅課 FAX 026-235-7486 E-mail jutaku@pref.nagano.jp</p>	<p>2億7698万1千円</p> <p>[3億3515万7千円]</p>	<p>清潔で快適な生活環境を確保し、公共水域の水質保全を図るため、下水道計画に沿って供用開始された地域内の県営住宅について、下水道接続を行います。</p> <p>・下水道接続: 7団地731戸</p>	<p>3億2901万円</p>	<p>1年あたりの事業費を縮減するため、計画期間を7年計画から8年計画に見直すこととし、工事箇所を縮減しました。</p>

事業名	予算額 [平成17年度予算額]	事業内容	要求額(12/21)	要求に対する査定経過
<p>県営住宅福祉サポート推進事業費</p> <p>[信州モデル創造枠予算]</p> <p>住宅課 FAX 026-235-7486 E-mail jutaku@pref.nagano.jp</p>	<p>7400万7千円</p> <p>[8270万5千円]</p>	<p>県営住宅をグループホームやDV被害者の自律支援住宅等に積極的に活用し、また、身体障害者や高齢者の方々が安心して自律した生活ができるよう、必要な改修を行い、県営住宅の福祉施策への活用を推進します。</p>	<p>7446万8千円</p>	<p>これまでの実績を考慮し、移転戸数を見直し、移転補償料を縮減しました。</p>
<p>県有施設アスベスト対策事業費</p> <p>施設課 FAX 026-235-7477 E-mail shisetsu@pref.nagano.jp</p>	<p>2億200万6千円</p> <p>[0円]</p>	<p>県有施設のアスベスト浮遊調査及び定量分析結果を受け、アスベストの含有が認められた吹付け材のうち、緊急度の高い施設から計画的に除去工事を実施します。</p>	<p>4億4586万1千円</p>	<p>より緊急性の高い施設から順次実施することとしました。</p>
<p>⑨ 公共施設耐震対策事業費</p> <p>[信州モデル創造枠予算]</p> <p>施設課 FAX 026-235-7477 E-mail shisetsu@pref.nagano.jp</p>	<p>1570万7千円</p> <p>[0円]</p>	<p>大規模地震の発生に備え、公共施設が保有すべき安全性の目標を定め、その目標を達成するため計画的に耐震診断を行い、施設利用者の安全性を確保し安心できる施設を提供します。</p>	<p>7億7563万2千円</p>	<p>耐震診断については、より緊急性の高い施設から順次実施することとし、耐震改修工事については、高校再編の動向を踏まえて対応することとしました。</p>

事業名	予算額 [平成17年度予算額]	事業内容	要求額(12/21)	要求に対する査定経過
<p>高齢者向け優良賃貸住宅供給促進事業費</p> <p>【信州モデル創造枠予算】</p> <p>建築管理課 FAX 026-235-7479 E-mail kenchiku@pref.nagano.jp</p>	[300万円]		825万円	<p>(要求の考え方) 一定の基準を満たす高齢者向けの優良な民間賃貸住宅の供給促進に取り組む市町村に助成する経費を要求しました。</p> <p>(査定結果) 福祉・医療との連携を強化して取り組む必要があることから、社会部に予算計上することとしました。</p>
<p>⑨ 信州の木活用住宅普及促進事業費</p> <p>【信州モデル創造枠予算】</p> <p>建築管理課 FAX 026-235-7479 E-mail kenchiku@pref.nagano.jp</p>	[0円]		105万5千円	<p>(要求の考え方) 信州の木を活用した質の高い住宅の供給を促進するため、県産材住宅の良さを県民の皆様にご存知いただくとともに信州の木を利用しやすい環境づくりを行うための経費を要求しました。</p> <p>(査定結果) 関係団体等の協力を得ながら、既存の予算の中で工夫して取り組むこととしました。</p>

事業名	予算額 [平成17年度予算額]	事業内容	要求額(12/21)	要求に対する査定経過
<p>⑨ 中古住宅性能評価支援事業費</p> <p>【信州モデル創造枠予算】</p> <p>建築管理課 FAX 026-235-7479 E-mail kenchiku@pref.nagano.jp</p>	[0円]		126万円	<p>(要求の考え方) 既存住宅ストックの有効活用のため、中古住宅の住宅性能評価を受ける者に対する補助金を要求しました。</p> <p>(査定結果) 中古住宅の性能評価の普及については、不動産業者等事業者自らが取り組んでいただくようゼロ予算事業で取り組むこととしました。</p>
<p>⑨ バランスのとれたまちづくり支援事業費</p> <p>【信州モデル創造枠予算】</p> <p>建築管理課土地・景観室 FAX 026-235-7479 E-mail tochi-keikan@pref.nagano.jp</p>	[0円]		88万4千円	<p>(要求の考え方) 時代にふさわしいバランスのとれたまちづくりを実現するため、市町村とともに既存の制度の活用や新たな制度の構築を図るための経費を要求しました。</p> <p>(査定結果) 関係部局と連携してより効率的に制度構築を検討することとしました。</p>
<p>⑨ 緊急地震情報放送設備設置事業費</p> <p>【信州モデル創造枠予算】</p> <p>施設課 FAX 026-235-7477 E-mail shisetsu@pref.nagano.jp</p>	[0円]		394万6千円	<p>(要求の考え方) 県有施設の利用者の生命・安全を守るため、本震が到達する前に危険回避のための地震情報放送を行う設備を、病院に導入するための経費を要求しました。</p> <p>(査定結果) 他県での活用の状況を見ながら検討していくこととしました。</p>

事業名	予算額 [平成17年度予算額]	事業内容	要求額(12/21)	要求に対する査定経過
警察官増員事業費 警務課 FAX 026-232-1110 E-mail police-kaikei@pref.nagano.jp	1億691万3千円 [8605万7千円]	治安に対する県民の不安が増大する中で、パトロールの強化や捜査力の更なる充実を図るため、警察官を50人増員します。	(当初要求) 0円	(要求時の考え方) 警察庁は、平成18年度に地方警察官3500人の増員を計画していましたが、本県への増員数が未確定のため、確定した時点で要求することとしていました。
			(追加要求) 1億947万円	警察庁から、警察官50人の増員について内示を受け、長野県が誇った治安を回復するための増員に関する経費を追加しました。 所要額については赴任旅費等物件費について、平成17年度実績等を考慮しました。
地域警察強化総合プラン推進事業費 地域課 FAX 026-232-1110 E-mail police-kaikei@pref.nagano.jp	2億1771万円 [6797万8千円]	「長野県警察緊急治安対策プログラム」の実践を効果的に行うために策定した「地域警察強化総合プラン」に基づいた施策を実施し、交番・駐在所警察官のパトロールの強化、職務執行力の強化を図ります。 ・交番相談員の配置(全交番) 98名 ・地域警察官の活動支援資機材の整備	2億2983万7千円	地域警察官の活動支援資機材については、計画的に整備することとし、所要額を見直しました。
子ども安全対策・総合指揮システム整備事業 【一部信州モデル創造枠予算】 地域課・生活安全企画課 FAX 026-232-1110 E-mail police-kaikei@pref.nagano.jp	321万2千円 [7596万3千円]	児童に対する犯罪を未然に防止し、子どもの安全対策を推進するとともに、重大事件、災害等の発生に速やかに対応するため、緊急配備、警察官の招集、地域住民への情報配信等を行う「情報配信システム」を整備します。	8554万1千円	情報配信システムについては、子ども安全対策への活用も可能であることから、情報配信機器の整備を追加しました。 緊急配備支援システムの整備は、後年度負担が多額なことから、平成18年度は見送ることとしました。

事業名	予算額 [平成17年度予算額]	事業内容	要求額(12/21)	要求に対する査定経過
<p>⑨ 災害警備対策事業費</p> <p>【一部信州モデル創造枠予算】</p> <p>警備第二課 FAX 026-232-1110 E-mail police-kaikei@pref.nagano.jp</p>	<p>2236万4千円</p> <p>[0円]</p>	<p>災害や突発重大事案の発生に備えて、精強な部隊を確立し、人命救助活動等を行うため、救助活動用装備資機材及び資機材運搬車両を整備します。</p>	<p>3274万9千円</p>	<p>災害救助資機材については、緊急性の高い資機材に精査しました。</p>
<p>⑨ “信州いきいき”セーフティ事業費 ～高齢者の交通事故防止～</p> <p>【信州モデル創造枠予算】</p> <p>交通企画課 FAX 026-232-1110 E-mail police-kaikei@pref.nagano.jp</p>	<p>377万8千円</p> <p>[0円]</p>	<p>高齢者の交通事故を抑止するため、運転免許センター等で、機器を活用した交通安全教育を行います。</p>	<p>3147万7千円</p>	<p>高齢者交通安全教育は送迎バスの導入を取り止め、高齢者交通事故防止教育機材を導入しました。</p>
<p>交通安全施設整備事業費</p> <p>交通規制課 FAX 026-232-1110 E-mail police-kaikei@pref.nagano.jp</p>	<p>13億5858万7千円</p> <p>[14億3590万3千円]</p>	<p>交通環境を改善し、交通の安全と円滑化を図るため、交通信号機、道路標識、道路標示等の整備を行います。</p>	<p>15億2177万3千円</p>	<p>厳しい財政状況の中で、道路改良に伴う信号機設置については、工事の進捗状況を踏まえながら、必要に応じて今後対応していくこととしました。</p>

事業名	予算額 [平成17年度予算額]	事業内容	要求額(12/21)	要求に対する査定経過
違法駐車取締対策事業費 交通指導課 FAX 026-232-1110 E-mail police-kaikei@pref.nagano.jp	4895万7千円 [316万3千円]	道路交通法の改正に伴う放置駐車違反の取締を強化するため、放置駐車の確認事務を民間委託するとともに、放置駐車違反取締業務管理システムを整備します。	4881万9千円	放置駐車確認用機材のうち一部は、後年度の負担を考慮し、リースから買取へ変更しました。
木曽路交通事故抑止対策事業費 [信州モデル創造枠予算] 交通企画課 FAX 026-232-1110 E-mail police-kaikei@pref.nagano.jp	2173万4千円 [2008万4千円]	国道19号線(木曽路)における交通事故を防止するため、通行車両の誘導や駐留警戒などの業務を警備会社に委託します。	2870万2千円	業務委託料等について平成17年度実績等を考慮しました。
安心と温もりの交番・駐在所建設事業費 地域課・会計課 FAX 026-232-1110 E-mail police-kaikei@pref.nagano.jp	2億8074万8千円 [2億2563万7千円]	老朽化している交番・駐在所について、生活安全センターとしての交番機能の強化を図るとともに、環境に配慮した地域に根付いた施設として、県産材を活用して建替えを行います。 1 交番(2か所) 池田町(大町署)、箕輪町(伊那署) 2 駐在所(3か所) 山本(飯田署)、森・倉科(千曲署)、野沢温泉村(飯山署)	4億6868万9千円	厳しい財政状況の中で、建設する交番・駐在所を見直しました。

事業名	予算額 [平成17年度予算額]	事業内容	要求額(12/21)	要求に対する査定経過
交通信号機のLED化事業費 【信州モデル創造枠予算】 交通規制課 FAX 026-232-1110 E-mail police-kaikei@pref.nagano.jp	3796万円 [2711万円]	地球温暖化防止対策に貢献するとともに、視認性の向上による交通事故防止を図るため、交通信号灯器を電球式から消費電力の少ない発光ダイオード(LED)に交換します。 対象地域 小布施町	7351万円	厳しい財政状況の中で、対象地域を見直しました。
犯罪被害者トータルサポート事業費 【信州モデル創造枠予算】 警務課 FAX 026-232-1110 E-mail police-kaikei@pref.nagano.jp	197万2千円 [215万9千円]	犯罪、交通事故の被害者・遺族の精神的負担を軽減し、早期の立ち直りを支援するため、行政・民間が協働で被害者等のニーズに応じた相談、直接支援、カウンセリング等のトータル的な支援を行います。	197万2千円	要求どおり
⑨ 日本一安全・安心なまちづくり支援事業費 【信州モデル創造枠予算】 生活安全企画課・交通企画課 FAX 026-232-1110 E-mail police-kaikei@pref.nagano.jp	- [0円]	-	4604万4千円	(要求の考え方) 地域ぐるみで各種治安対策に積極的に取り組み「日本一安全・安心なまちづくり」を目指す意欲ある自治体に対し、事業の継続性を高める経費を要求しました。 (査定結果) 支援方法に検討の余地があることから、平成18年度は事業化を見送ることとしました。

事業名	予算額 [平成17年度予算額]	事業内容	要求額(12/21)	要求に対する査定経過
<p>⑨ 留置業務支援事業費</p> <p>監察課 FAX 026-232-1110 E-mail police-kaikei@pref.nagano.jp</p>	-	-	1864万7千円	<p>(要求の考え方) 留置場収容人員の増大に伴い、被留置者の人権確保、事故防止、不適正事案の防止等を図る留置業務支援要員を新たに配置する経費を要求しました。</p> <p>(査定結果) 職員の効率的な運用により対応することとしました。</p>
<p>⑨ 諏訪警察署建設事業費</p> <p>警務課・会計課 FAX 026-232-1110 E-mail police-kaikei@pref.nagano.jp</p>	-	-	4731万9千円	<p>(要求の考え方) 耐震安全性が極めて低く、かつ、老朽化した諏訪警察署の移転建替えのための地質調査、設計委託等を行う経費を要求しました。</p> <p>(査定結果) 厳しい財政状況の中で、警察署の建設について引き続き検討することとしました。</p>
<p>⑨ 警察施設バリアフリー化事業費</p> <p>[信州モデル創造枠予算]</p> <p>会計課 FAX 026-232-1110 E-mail police-kaikei@pref.nagano.jp</p>	-	-	2328万3千円	<p>(要求の考え方) 警察署へ来訪する障害者の利便を図るため、自動ドア、身障者用トイレを設置するなどバリアフリー化の経費を要求しました。</p> <p>(査定結果) 当面、職員による介助等ソフト面での対応を行うこととしました。</p>

事業名	予算額 [平成17年度予算額]	事業内容	要求額(12/21)	要求に対する査定経過
私立学校教育振興費補助金 私学教育振興室 FAX 026-235-7387 E-mail shigaku@pref.nagano.jp	57億9152万円 [58億2275万7千円]	私立教育の振興と父母負担の軽減を図るため、学校法人が設置する私立学校の経常経費に対して補助します。 私立高等学校 33億7580万9千円 16校 私立中学校 1億8492万7千円 4校 私立小学校 3196万1千円 3校 私立幼稚園 21億3658万2千円 102園 私立専修学校 5956万2千円 24校 私立外国人学校 267万9千円 1校 補助率 定額	58億3019万2千円	私立高等学校について、補助対象経費を見直しました。 私立中学校、小学校及び幼稚園について、国標準単価の決定に伴い、生徒1人あたりの単価を見直しました。 私立専修学校について、専門課程に対する生徒1人あたりの単価を見直しました。
私立高等学校授業料等軽減事業補助金 私学教育振興室 FAX 026-235-7387 E-mail shigaku@pref.nagano.jp	1億5454万3千円 [1億4731万円]	私立高等学校に在籍する生徒の父母負担の軽減を図るため、学校法人が生徒の授業料又は入学金を軽減した場合に、当該軽減額に対して補助します。 軽減の対象となる要件 ・生活保護法の要保護者 ・母子家庭で生活が著しく困難 ・所得が一定の基準以下 など	1億5454万3千円	要求どおり
信州こまやか教育プラン 【一部信州モデル創造枠予算】 義務教育課 FAX 026-235-7494 E-mail gimukyoku@pref.nagano.jp	教職員人件費中 43億8950万円 [44億1050万円]	学級及び学習集団の規模を小さくし、個に応じたきめ細やかな指導を行うことにより、学習習慣・生活習慣の定着と基礎学力の向上を図ります。 ・小学校30人規模学級編成事業 ・学習習慣形成支援事業 (新) 中1ギャップへの対応 ・少人数学習集団編成事業	43億8950万円	要求どおり

事業名	予算額 [平成17年度予算額]	事業内容	要求額(12/21)	要求に対する査定経過
長期入院児童生徒訪問支援 事業費 【信州モデル創造枠予算】 義務教育課 FAX 026-235-7494 E-mail gimukyoku@pref.nagano.jp	658万5千円 [658万5千円]	院内学級のない病院に長期入院している児童生徒等に対し、教員経験者による訪問学習やスムーズな復学に向けた支援を行います。 ・対象児童生徒 院内学級のない病院に1か月以上入院を要すると判断された児童生徒 医療上の指示により1か月以上自宅療養を要すると判断された児童生徒	658万5千円	要求どおり
児童相談所一時保護児童生徒 教育支援事業費 【信州モデル創造枠予算】 義務教育課 FAX 026-235-7494 E-mail gimukyoku@pref.nagano.jp	447万1千円 [253万6千円]	中央及び松本児童相談所の一時保護所に教員経験者を派遣し、入所している児童生徒に必要な教育支援を行います。 支援内容: ・児童生徒一人ひとりに応じた学習支援 ・児童指導員に学齢に適した学習内容や教材のアドバイス	447万1千円	要求どおり
こども ほんとサポート推進事業 費 【信州モデル創造枠予算】 義務教育課 FAX 026-235-7494 E-mail gimukyoku@pref.nagano.jp	3201万円 [3201万円]	小・中学校において、障害のある児童生徒及び外国籍児童生徒が安心して生活を送れるよう、一人ひとりの状況に応じて「こども ほんとサポーター」として介助員、支援員を配置し、必要な支援を行います。 ・障害のある児童生徒の学習指導補助、生活指導補助 ・外国籍児童生徒の日本語指導補助、生活指導補助	4924万6千円	小・中学校からの配置要望が多いことから増額の要望をしましたが、配置時間を工夫するなどにより、できるだけ多くの学校に配置することとし、平成17年度と同額としました。

事業名	予算額 [平成17年度予算額]	事業内容	要求額(12/21)	要求に対する査定経過
お年寄りといつでもふれあえる 学校づくり支援事業補助金 【信州モデル創造枠予算】 義務教育課 FAX 026-235-7494 E-mail gimukyoku@pref.nagano.jp	1000万円 [0円]	地域のお年寄りによる子どもたちの登下校の見守りや、知恵と経験を活かした学校づくりを進めるため、小・中学校でお年寄りと子どもたちがいつでもふれあえる環境の整備を支援します。 支援内容 ・ 空き教室に畳を敷いたり給湯設備を整備する等、小・中学校がお年寄りとの日常的なふれあいの場となるための設備の整備	(当初要求) 0円	-
			(追加要求) 1000万円	平成17年度はコモンズ支援金のメニュー事業であったため、教育委員会の事業としては要求していませんでしたが、子どもたちの安全確保の面からも効果が期待できることから、教育委員会として積極的に取り組むこととし、事業を追加しました。
日本語が不自由な生徒の ための高校生活支援事業費 【信州モデル創造枠予算】 高校教育課 FAX 026-235-7488 E-mail koukou@pref.nagano.jp	417万9千円 [585万9千円]	外国籍生徒及び帰国子女の学校生活を支援するための相談員を配置し、学校生活への適応を促進します。 配置校 県立高等学校 12校	417万9千円	要求どおり
だれでも訪問教育推進事業費 【信州モデル創造枠予算】 自律教育課 FAX 026-235-7459 E-mail jiritsu@pref.nagano.jp	9350万円 [9455万8千円]	広く教育機会の確保を図るため、養護学校高等部において、希望する人には年齢に関係なく誰にでも訪問教育を実施します。 平成18年度生徒数 45人	9350万円	要求どおり

事業名	予算額 [平成17年度予算額]	事業内容	要求額(12/21)	要求に対する査定経過
LD・ADHD児等支援事業費 【信州モデル創造枠予算】 自律教育課 FAX 026-235-7459 E-mail jiritsu@pref.nagano.jp	140万9千円 [336万5千円]	通常の学級で学んでいるLD(学習障害)、ADHD(注意欠陥/多動性障害)児等が主体的かつ自律的に生きる力を育む教育環境の整備を図るため、市町村が主体となって学級担任や学校を支援する体制を整備するとともに、教師の指導能力を高めます。 ・自律教育コーディネーターの養成 ・サポート会議の開催 ・市町村における自律教育連携協議会の設置	243万1千円	自律教育コーディネーターなどの人材を活用することにより講師謝金・旅費を精査しました。
自律教育地域化推進事業費 【一部信州モデル創造枠予算】 自律教育課 FAX 026-235-7459 E-mail jiritsu@pref.nagano.jp	7654万8千円 [2774万9千円]	ノーマライゼーションの理念に基づき、障害のある子どもも、ない子どもも、地域で豊かに学ぶことができる教育環境の整備を進めます。 ・自律学校地域化推進モデル事業 (小・中・高等部分教室のモデル研究を実施 教員7人) ・乳幼児「きこえの教室」分教室 4教室 ・新たな小・中・高等学校への分教室設置に向けた研究と体制整備	8702万8千円	長野養護学校更級農業分教室の改修工事等に係る経費を、他校で実施した同様の工事を参考に精査しました。
医療的ケア看護師配置事業費 【信州モデル創造枠予算】 自律教育課 FAX 026-235-7459 E-mail jiritsu@pref.nagano.jp	2571万4千円 [2147万円]	自律学校に看護師を配置し、痰の吸引などの医療的ケアを必要とする児童生徒が安全かつ安心して学べる教育環境づくりを行います。 ・配置校 13校 ・配置看護師 15人(常勤2人 非常勤13人)	2632万円	看護師の出勤日数等の実績を踏まえ報酬等を精査しました。

事業名	予算額 [平成17年度予算額]	事業内容	要求額(12/21)	要求に対する査定経過
稲荷山養護学校改築事業費 【信州モデル創造枠予算】 自律教育課 FAX 026-235-7459 E-mail jiritsu@pref.nagano.jp	16億646万2千円 [22億8760万8千円]	老朽化した稲荷山養護学校を、知的障害・肢体不自由の児童生徒が共に学べる県内初の知肢併置校として改築し、児童生徒の障害の状況に配慮した教育環境の整備を行います。 ・平成18年度 第3期工事実施	22億7410万6千円	調度品等の購入に係る需用費・備品購入費を実績を踏まえて精査しました。 用地取得に係る経費については、今後の補正予算等で対応することとしました。
スクールカウンセラー事業費 【一部信州モデル創造枠予算】 教学指導課 FAX 026-235-7495 E-mail kyougaku@pref.nagano.jp	1億2628万9千円 [1億2203万3千円]	いじめ、暴力行為などの問題行動や不登校に対応するため、心の専門家(スクールカウンセラー)を増員し、相談体制を充実します。 スクールカウンセラー配置校数等 中学校 77校 80校 高等学校 1600時間 1800時間	1億2701万5千円	配置校までの交通費及び訪問回数を踏まえ旅費を精査しました。
NPO等による不登校児童生徒支援事業費 【信州モデル創造枠予算】 教学指導課 FAX 026-235-7495 E-mail kyougaku@pref.nagano.jp	672万6千円 [2595万3千円]	不登校児童生徒及び保護者への支援を行っている実績や、新たな支援を行う意欲のあるNPO・民間団体・公的機関等に対し、不登校児童生徒の実態に応じた効果的な支援・活動プログラム等を公募し、選考の上、実施を委託します。 委託団体 6団体	2581万1千円	教育事務所との連携を深め、より効果的に事業を実施するため、委託団体を絞り込むとともに、1団体当たりの委託金額を精査しました。

事業名	予算額 [平成17年度予算額]	事業内容	要求額(12/21)	要求に対する査定経過
信州キャリア教育推進プラン 事業費 教学指導課 FAX 026-235-7495 E-mail kyougaku@pref.nagano.jp	195万円 [157万5千円]	児童生徒が職場体験等を通じて働くことの意義を学び、生きる自信と意欲を育てるため、学校と家庭、地域が連携したキャリア教育を推進します。 ・小・中・高一貫したキャリア教育の推進 ・職場体験受入事業所の拡大に向けた広報活動、協力依頼	447万9千円	高校生の職場体験に必要な保険料を予算計上し、職場体験受入事業所の拡大に向けた取組などについてはゼロ予算事業で実施することとしました。
信州教育プラン21事業費 【信州モデル創造枠予算】 教学指導課 FAX 026-235-7495 E-mail kyougaku@pref.nagano.jp	252万6千円 [285万7千円]	児童生徒の学ぶ意欲や創造力等を育むため、「読み・書き・計算」等のコンクールを開催します。 ・募集対象 小・中・高校生 ・参加者が一堂に会し、“ライブ”で表現しあうコンクール	279万6千円	参加賞を取りやめるなど表彰経費を見直し節減しました。
学力実態調査事業費 教学指導課 FAX 026-235-7495 E-mail kyougaku@pref.nagano.jp	443万9千円 [509万7千円]	児童生徒の学力実態を把握し、学力向上につなげていくため、児童生徒、学校、市町村、県が必要な情報を活用できる調査を、市町村と協働で実施します。 ・調査対象 小学校5年：4教科(国、算、社、理) 中学校2年：5教科(国、数、社、理、英) ・調査人数 各1400人	952万円	調査対象人数を、平成17年度までの調査と同じ人数としました。

事業名	予算額 [平成17年度予算額]	事業内容	要求額(12/21)	要求に対する査定経過
<p>⑨ 信州子ども自然(親善)大使プロジェクト事業費</p> <p>【信州モデル創造枠予算】 【事業提案】</p> <p>教学指導課 FAX 026-235-7495 E-mail kyougaku@pref.nagano.jp</p>	<p>966万6千円</p> <p>[0円]</p>	<p>小・中・高校生を対象に、信州の自然を題材にした絵本やホームページ等の作品を募集し、世界に向かって自然の豊かさをアピールできるなどの観点で審査を行います。</p> <p>審査の結果、優勝した子どもたちは「信州子ども自然(親善)大使」として海外に赴くこと等により、信州の自然を国内外に発信して交流を深めます。</p>	696万1千円	信州の自然の素晴らしさを見つけるイベントの開催に要する経費等を増額しました。
<p>地域に開かれた高等学校図書館活用事業費</p> <p>【信州モデル創造枠予算】</p> <p>文化財・生涯学習課 FAX 026-235-7493 E-mail bunshou@pref.nagano.jp</p>	<p>196万1千円</p> <p>[195万8千円]</p>	<p>県立高等学校の図書館を活用し、地域住民に多様な学習機会を提供します。</p> <p>・実施校 住民等が実施を希望する高等学校(5校) ・開放時間 毎週土・日曜日の午前10時から午後4時 ・運営 地域ボランティアを中心とする団体</p>	319万9千円	貸出し用図書購入に要する経費及び光熱水費を見直しました。
<p>中学校の図書館等を活用した読書活動推進事業費</p> <p>【信州モデル創造枠予算】</p> <p>文化財・生涯学習課 FAX 026-235-7493 E-mail bunshou@pref.nagano.jp</p>	<p>568万8千円</p> <p>[350万円]</p>	<p>県立長野図書館の図書を公共図書館等がない町村の中学校等へ長期に貸し出し、読書活動の推進を通じて地域住民への多様な学習機会を提供する環境を整備します。</p> <p>・対象町村 13町村 ・実施内容 「県立図書館文庫」として図書資料の貸出し リサイクル本の提供 など</p>	571万6千円	消耗品費及び郵送料を節減しました。

事業名	予算額 [平成17年度予算額]	事業内容	要求額(12/21)	要求に対する査定経過
教職員復職訓練・審査事業費 【一部信州モデル創造枠予算】 保健厚生課 FAX 026-234-5169 E-mail hokenkou@pref.nagano.jp	170万7千円 [176万6千円]	精神神経系疾患休業者の職務能力の回復と円滑な職場復帰を図るため、職場復帰訓練を実施し、本人の自覚及び教職員健康審査会の判定を経て、復職の可否の判断を行います。	176万2千円	教職員健康審査会第一部会に係る委員の費用弁償を見直しました。
⑨ 学校・家庭・地域が協働した信州「楽食」推進事業費 【信州モデル創造枠予算】 保健厚生課 FAX 026-234-5169 E-mail hokenkou@pref.nagano.jp	319万6千円 [0円]	子どもたちが健全な食生活を実践する力を身につけるために、学校を中心として家庭や地域社会と連携・協力して「楽食」を推進します。 ・学校における『信州「楽食」アラカルト』の作成と普及 ・わくわく・どきどき親子料理教室の開催 ・学校給食応援隊の派遣 ・学校栄養職員等を対象とした講習の実施	424万円	親子料理教室の会場使用料等について見直しました。

事業名	予算額 [平成17年度予算額]	事業内容	要求額(12/21)	要求に対する査定経過
保育対策等促進事業費 【一部信州モデル創造枠予算】 こども支援課 FAX 026-235-7490 E-mail kodomo-shien@pref.nagano.jp	4億7201万3千円 [3億9665万4千円]	子育て環境が変化する中、多様化する保育ニーズに対応するため、乳児保育等を実施する市町村等に対して助成します。 乳児保育等促進 90 か所 1歳児保育推進 45 人 *1 障害児保育 596 人 *2 保育環境改善等(保育所分) 2 か所 (新) 保育環境改善等(児童クラブ設置促進分) 2 か所 一時保育促進 144 か所 地域子育て支援センター 48 か所 休日保育 19 か所 特定保育 3 か所 保育所分園推進 1 か所 子育てサロン 20 か所 自由保育所児童処遇向上 18 か所 *1 保育士加配数 *2 対象児童数	5億253万4千円	平成17年度の執行状況を勘案し、事業費を見直しました。
「こどもの権利」支援システム構築事業費 【信州モデル創造枠予算】 こども支援課 FAX 026-235-7490 E-mail kodomo-shien@pref.nagano.jp	484万7千円 [547万8千円]	権利被害を受けた子どもの立場に立った支援センターを運営し、関係機関のつながりを調整し、地域におけるサポート体制の構築を図ります。	1064万7千円	こどもの権利被害の救済については、関係機関とより連携を深めて取り組むこととし、こどもの権利検討会の設置とこどもの権利検討グループへの助成については見送ることとしました。

事業名	予算額 [平成17年度予算額]	事業内容	要求額(12/21)	要求に対する査定経過
チャイルドライン支援事業補助金 【信州モデル創造枠予算】 こども支援課 FAX 026-235-7490 E-mail kodomo-shien@pref.nagano.jp	750万円 [500万円]	子ども自身の問題解決能力を高めるために、子どものありのままの声を子どもに暖かく寄り添って電話で聞き、どんなことでも一緒に考える「チャイルドライン」を設置・運営する市民団体に必要な経費を助成します。 ・事業主体 NPO法人 ・補助率 定額 ・実施団体数 3団体	750万円	要求どおり
児童館施設整備事業補助金 こども支援課 FAX 026-235-7490 E-mail kodomo-shien@pref.nagano.jp	3374万6千円 [0円]	18歳までのすべての児童を対象に、安全な居場所を提供し、健康の増進と豊かな情操を育むための児童館・児童センターを整備する市町村に対して助成します。 ・事業主体 市町村 ・補助率 1/2 ・実施か所数 2か所	767万8千円	要望か所について地域の実情や必要性等を確認の上、1か所追加して採択することとしました。
児童クラブ事業補助金 【一部信州モデル創造枠予算】 こども支援課 FAX 026-235-7490 E-mail kodomo-shien@pref.nagano.jp	3億6048万2千円 [3億2106万6千円]	保護者が就労等で昼間家庭にいない児童や要支援児童に対し、放課後に児童館等を利用して適切な遊びや生活の場を提供するための児童クラブ事業を実施する市町村に対して助成します。 ・事業主体 市町村 ・補助率 1/2 ・児童クラブ数 260か所	3億6048万2千円	要求どおり

事業名	予算額 [平成17年度予算額]	事業内容	要求額(12/21)	要求に対する査定経過
おはなしドキドキぱ - く事業費 【信州モデル創造枠予算】 こども支援課 FAX 026-235-7490 E-mail kodomo-shien@pref.nagano.jp	1166万7千円 [1415万2千円]	子どもたちの夢を大きく育むため、「おはなしぱけっと号」を活用し、保育所をはじめ多様な場所に積極的に出かけて、絵本の読み聞かせや紙芝居等を地域の読み聞かせグループ等と協働して実施します。 ・おはなしドキドキぱーく 40回 ・おでかけ絵本図書館 120回	1070万4千円	保育所や幼稚園だけでなく、子どもの集まるイベント会場や児童館等にも積極的に訪問することとし、「おはなしぱけっと号」の運行経費を増額しました。
⑨ “かんたん！図書館eねっと” 事業費 【信州モデル創造枠予算】 文化財・生涯学習課 FAX 026-235-7493 E-mail bunshou@pref.nagano.jp	[0円]		185万4千円	(要求の考え方) 利用者の利便性の向上を図るため、県立図書館のホームページからの一発検索システム及び蔵書のインターネット貸出予約システムを構築する経費を要求しました。 (査定結果) 事業効果について更に検討を必要とすることから当面は現行のシステムによりサービスを継続することとしました。
⑨ 「みんなの信州遺産(仮称)」 策定事業費 【信州モデル創造枠予算】 文化財・生涯学習課 FAX 026-235-7493 E-mail bunshou@pref.nagano.jp	[0円]		66万5千円	(要求の考え方) 県内の文化遺産・自然遺産について、発見、保存・修理し未来に継承する取組を行うことにより、身近な文化財を信州ブランドとして活用するための基本構想策定に係る委員会開催の経費を要求しました。 (査定結果) 文化財保護審議会を活用することなどにより、ゼロ予算事業で基本構想を策定することとしました。

事業名	予算額 [平成17年度予算額]	事業内容	要求額(12/21)	要求に対する査定経過
<p>⑨ 信州近代化遺産総合調査 事業費</p> <p>【信州モデル創造枠予算】</p> <p>文化財・生涯学習課 FAX 026-235-7493 E-mail bunshou@pref.nagano.jp</p>	[0円]		397万6千円	<p>(要求の考え方) 江戸時代末期から第二次世界大戦終結時までに造られた重要な建造物を文化財として後世に残し、必要な活用策を考えるための総合的な調査実施に係る経費を要求しました。</p> <p>(査定結果) 平成18年度はゼロ予算事業で市町村との連携を密にすることにより文化財の把握に努め、本調査の基盤づくりを進めることとしました。</p>
<p>⑨ キッズスポーツタレント発掘事業費</p> <p>【信州モデル創造枠予算】</p> <p>スポーツ課 FAX 026-235-7476 E-mail sports-ka@pref.nagano.jp</p>	[0円]		560万8千円	<p>(要求の考え方) 県内のスポーツに特に優れた能力を持つ子どもを見出し、計画的に育成し、各競技団体の一貫指導のもと、将来オリンピック等の国際舞台で活躍する競技者を育成するための経費を要求しました。</p> <p>(査定結果) 身体能力の優れた子どもだけの育成は、スポーツに係る様々な課題の解決にならないこともあり事業化を見送りました。</p>
<p>⑨ 夢の授業「ようこそトップアスリート」事業費</p> <p>【信州モデル創造枠予算】</p> <p>スポーツ課 FAX 026-235-7476 E-mail sports-ka@pref.nagano.jp</p>	[0円]		402万4千円	<p>(要求の考え方) 子どもたちの将来の生き方やスポーツに対する夢や希望を育むため、日本を代表するトップアスリートが小・中学校においてスポーツの授業を行うための経費を要求しました。</p> <p>(査定結果) 個別の学校への取組では事業効果が期待できないことから、事業化を見送りました。</p>

事業名	予算額 [平成17年度予算額]	事業内容	要求額(12/21)	要求に対する査定経過
<p>⑨ 保育所給食で地域食材を味わおう事業費</p> <p>【信州モデル創造枠予算】</p> <p>こども支援課 FAX 026-235-7490 E-mail kodomo-shien@pref.nagano.jp</p>	[0円]		1008万円	<p>(要求の考え方) 保育所給食において県産食材を概ね100%使用する日を設け、その食材費に対して助成するための経費を要求しました。</p> <p>(査定結果) 地方事務所に配置されている保育専門相談員が、通常の実組の中で保育所に対し健全な食生活の重要性をアドバイスしていくこととしました。</p>
<p>⑨ 信州から発信する次世代育成支援モデル事業費</p> <p>【信州モデル創造枠予算】</p> <p>こども支援課 FAX 026-235-7490 E-mail kodomo-shien@pref.nagano.jp</p>	[0円]		78万円	<p>(要求の考え方) 次世代育成を推進するために企業・地域・民間団体と連携して取り組むために対策本部を設置する経費を要求しました。</p> <p>(査定結果) 少子化対策の一環として実施していくことが必要であることから、事業化を見送りました。</p>

事業名	予算額 [平成17年度予算額]	事業内容	要求額(12/21)	要求に対する査定経過												
<p>公共事業費</p> <p>土木部監理課 FAX 026-235-7482 E-mail kanri@pref.nagano.jp</p> <p>林務部林政課 FAX 026-233-4032 E-mail rinsei@pref.nagano.jp</p> <p>農政部土地改良課 FAX 026-233-4069 E-mail tochikai@pref.nagano.jp</p> <p>生活環境部水環境課生活排水対策室 FAX 026-235-7399 E-mail seikatsuhaisui@pref.nagano.jp</p>	<p>678億5300万2千円</p> <p>[748億1785万6千円]</p>	<table border="1" data-bbox="904 363 1368 560"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>予 算 額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土 木</td> <td>446億5486万9千円</td> </tr> <tr> <td>林 務</td> <td>90億9637万4千円</td> </tr> <tr> <td>農 政</td> <td>104億1008万4千円</td> </tr> <tr> <td>生 活 環 境</td> <td>36億9167万5千円</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>678億5300万2千円</td> </tr> </tbody> </table> <p>(債務負担) (184億7200万円)</p>	区 分	予 算 額	土 木	446億5486万9千円	林 務	90億9637万4千円	農 政	104億1008万4千円	生 活 環 境	36億9167万5千円	合 計	678億5300万2千円	<p>743億747万7千円</p>	<p>厳しい財政状況の中で、原点に立ち返ってその事業効果や緊急性等をゼロベースで精査し、事業費を縮減しました。</p>
区 分	予 算 額															
土 木	446億5486万9千円															
林 務	90億9637万4千円															
農 政	104億1008万4千円															
生 活 環 境	36億9167万5千円															
合 計	678億5300万2千円															
<p>県単独事業費</p> <p>土木部監理課 FAX 026-235-7482 E-mail kanri@pref.nagano.jp</p> <p>林務部林政課 FAX 026-233-4032 E-mail rinsei@pref.nagano.jp</p> <p>農政部土地改良課 FAX 026-233-4069 E-mail tochikai@pref.nagano.jp</p> <p>生活環境部水環境課生活排水対策室 FAX 026-235-7399 E-mail seikatsuhaisui@pref.nagano.jp</p>	<p>188億2850万円</p> <p>[206億9598万3千円]</p>	<table border="1" data-bbox="904 978 1368 1174"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>予 算 額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土 木</td> <td>181億7756万6千円</td> </tr> <tr> <td>林 務</td> <td>1億4343万4千円</td> </tr> <tr> <td>農 政</td> <td>4億4850万円</td> </tr> <tr> <td>生 活 環 境</td> <td>5900万円</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>188億2850万円</td> </tr> </tbody> </table> <p>(債務負担) (8億4919万8千円)</p>	区 分	予 算 額	土 木	181億7756万6千円	林 務	1億4343万4千円	農 政	4億4850万円	生 活 環 境	5900万円	合 計	188億2850万円	<p>197億2244万8千円</p>	<p>厳しい財政状況の中で、原点に立ち返ってその事業効果や緊急性等をゼロベースで精査し、事業費を縮減しました。</p>
区 分	予 算 額															
土 木	181億7756万6千円															
林 務	1億4343万4千円															
農 政	4億4850万円															
生 活 環 境	5900万円															
合 計	188億2850万円															

事業名	予算額 [平成17年度予算額]	事業内容	要求額(12/21)	要求に対する査定経過																
災害復旧事業費 土木部監理課 FAX 026-235-7482 E-mail kanri@pref.nagano.jp 林務部林政課 FAX 026-233-4032 E-mail rinsei@pref.nagano.jp 農政部土地改良課 FAX 026-233-4069 E-mail tochikai@pref.nagano.jp	66億3253万9千円 [149億6863万7千円]	<table border="1" data-bbox="904 280 1368 512"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>予算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>公共</td> <td></td> </tr> <tr> <td>土木</td> <td>54億2560万円</td> </tr> <tr> <td>林務</td> <td>4億1182万3千円</td> </tr> <tr> <td>農政</td> <td>7億421万7千円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>65億4164万円</td> </tr> <tr> <td>県単災害</td> <td>9089万9千円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>66億3253万9千円</td> </tr> </tbody> </table> <p data-bbox="913 544 1361 576">(債務負担) (6億6307万5千円)</p>	区分	予算額	公共		土木	54億2560万円	林務	4億1182万3千円	農政	7億421万7千円	計	65億4164万円	県単災害	9089万9千円	合計	66億3253万9千円	66億3253万9千円	要求どおり
区分	予算額																			
公共																				
土木	54億2560万円																			
林務	4億1182万3千円																			
農政	7億421万7千円																			
計	65億4164万円																			
県単災害	9089万9千円																			
合計	66億3253万9千円																			
直轄事業負担金 土木部監理課 FAX 026-235-7482 E-mail kanri@pref.nagano.jp 林務部林政課 FAX 026-233-4032 E-mail rinsei@pref.nagano.jp 農政部土地改良課 FAX 026-233-4069 E-mail tochikai@pref.nagano.jp	249億6430万8千円 [226億864万7千円]	<table border="1" data-bbox="904 799 1368 967"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>予算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木</td> <td>206億円</td> </tr> <tr> <td>林務</td> <td>4億7801万6千円</td> </tr> <tr> <td>農政</td> <td>38億8629万2千円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>249億6430万8千円</td> </tr> </tbody> </table>	区分	予算額	土木	206億円	林務	4億7801万6千円	農政	38億8629万2千円	合計	249億6430万8千円	249億6430万8千円	要求どおり						
区分	予算額																			
土木	206億円																			
林務	4億7801万6千円																			
農政	38億8629万2千円																			
合計	249億6430万8千円																			